應華精密科技股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國 106 年及 105 年第三季

（股票代碼 5392）

公司地址：台北市松山區復興北路 101 號 10 樓

電　　話：(02)2547-2089

應 華 精 密 科 技 股 份 有 限 公 司 及 子 公 司

民國 106 年及 105 年第三季合併財務報告暨會計師核閱報告

目　　錄

項　　目	頁　次
一、　封面	1
二、　目錄	2 ~ 3
三、　會計師核閱報告	4 ~ 5
四、　合併資產負債表	6 ~ 7
五、　合併綜合損益表	8 ~ 9
六、　合併權益變動表	10
七、　合併現金流量表	11 ~ 12
八、　合併財務報表附註	13 ~ 80
（一）　公司沿革	13
（二）　通過財務報告之日期及程序	13
（三）　新發布及修訂準則及解釋之適用	13 ~ 17
（四）　重大會計政策之彙總說明	17 ~ 36
（五）　重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	36 ~ 37
（六）　重要會計項目之說明	37 ~ 66
（七）　關係人交易	66 ~ 69
（八）　質押之資產	70
（九）　重大或有負債及未認列之合約承諾	70

項　　目	頁　　次
(十)　重大之災害損失	71
(十一)重大之期後事項	71
(十二)其他	71 ~ 78
(十三)附註揭露事項	79
(十四)部門資訊	79 ~ 80

pwc 資誠

會計師核閱報告

(106)財審報字第 17001933 號

應華精密科技股份有限公司　公鑒：

應華精密科技股份有限公司及其子公司民國 106 年及 105 年 9 月 30 日之合併資產負債表，民國 106 年及 105 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表，暨民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併權益變動表及合併現金流量表，業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報表之編製係公司管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。列入上開合併財務報表之部分子公司-捷邦國際科技股份有限公司及子公司，其合併財務報表未經本會計師核閱，而係由其他會計師核閱。因此，本會計師對上開合併財務報表所出具之核閱報告，有關該等子公司財務報表所列之金額及附註十三所揭露之相關資訊，係依據其他會計師之核閱報告。該等子公司民國 106 年及 105 年 9 月 30 日之資產總額分別為新台幣 1,946,444 仟元及 2,076,453 仟元，各占合併總資產之 18%及 18%；民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之營業收入淨額分別為新台幣 1,535,073 仟元及 1,483,131 仟元，各占合併營業收入淨額之 26%及 26%。另如合併財務報表附註六(十)所述，列入上開合併財務報表之部分採用權益法之投資，係依據經其他會計師核閱之財務報表評價及揭露，民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日採用權益法認列之關聯企業(損)益與其他綜合(損)益之份額分別為新台幣 1,117 仟元及 239 仟元；民國 106 年及 105 年 9 月 30 日採用權益法之投資餘額分別為新台幣 26,215 仟元及 25,963 仟元。

除下段所述者外，本會計師係依照中華民國審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作，由於本會計師僅實施分析、比較及查詢，並未依照一般公認審計準則查核，故無法對上開合併財務報表整體表示查核意見。

如合併財務報表附註四(三)所述，列入上開合併財務報表之部分非重要子公司及採用權益法之投資，其財務報表及附註十三所揭露之相關資訊，係依據各該公司同期間自編未經會計師核閱之財務報表所編製。該等公司民國 106 年及 105 年 9 月 30 日之資產總額(含採用權益法之投資餘額)分別為新台幣 1,999,457 仟元及 1,988,425 仟元，各占合併資產總額之 18%及 17%；負債總額分別為新台幣 750,852 仟元及 890,504 仟元，各占合併負債總額之 14%及 15%；民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之綜合(損)益(含採用權益法認列之關聯企業(損)益與其他綜合(損)益之份額)分別為新台幣 53,374

資誠聯合會計師事務所 PricewaterhouseCoopers Taiwan
11012 臺北市信義區基隆路一段333號27樓 / 27F, No. 333, Sec. 1, Keelung Rd., Xinyi Dist., Taipei 11012, Taiwan
T: +886 (2) 2729 6666, F:+ 886 (2) 2729 6686, www.pwc.tw

pwc 資誠

仟元及(15,272)仟元，各佔合併綜合(損)益之 2,604%及 7%。

依本會計師核閱結果及其他會計師之核閱報告，除上段所述列入合併財務報表之部分非重要子公司及採用權益法投資之財務報表及附註十三所揭露之相關資訊，若能取得同期間經會計師核閱之財務報表而可能須作適當調整及揭露之影響外，並未發現第一段所述合併財務報表在所有重大方面有違反「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」而須作修正之情事。

資 誠 聯 合 會 計 師 事 務 所

阮呂曼玉 阮呂曼玉

會計師

徐聖忠 徐聖忠

前行政院金融監督管理委員會
核准簽證文號：金管證審字第 0990058257 號
金融監督管理委員會
核准簽證文號：金管證審字第 1010034097 號

中 華 民 國 1 0 6 年 1 1 月 9 日

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國106年9月30日及民國105年12月31日、9月30日

（民國106年及105年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	資產	附註	106年9月30日 金額	%	105年12月31日 金額	%	105年9月30日 金額	%
	流動資產							
1100	現金及約當現金	六(一)	$ 2,457,089	22	$ 2,470,505	22	$ 2,486,168	21
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	六(二)	333,174	3	300,261	3	308,717	3
1125	備供出售金融資產－流動	六(三)(三十六)	162,756	2	226,887	2	225,711	2
1147	無活絡市場之債務工具投資－流動	六(五)	2,976	-	2,889	-	3,029	-
1150	應收票據淨額	六(六)	55,568	1	94,202	1	68,420	-
1170	應收帳款淨額	六(六)(七)	2,013,884	18	1,968,341	17	1,942,850	17
1180	應收帳款－關係人淨額	六(六)及七	52,131	-	92,623	1	64,864	-
1200	其他應收款	六(三十六)	41,559	-	126,861	1	300,256	3
130X	存貨	六(八)	1,151,449	11	1,075,473	9	1,129,010	10
1410	預付款項	七	77,854	1	71,256	1	86,160	1
1470	其他流動資產	六(九)	9,237	-	8,005	-	10,888	-
11XX	**流動資產合計**		6,357,677	58	6,437,303	57	6,626,073	57
	非流動資產							
1523	備供出售金融資產－非流動	六(三)(三十六)	261,622	3	261,929	2	244,739	2
1543	以成本衡量之金融資產－非流動	六(四)	429,413	4	322,334	3	321,749	3
1550	採用權益法之投資	六(十)及七	383,992	4	489,750	5	495,586	4
1600	不動產、廠房及設備	六(十一)(三十六)及八	3,185,125	29	3,438,162	31	3,553,980	31
1780	無形資產	六(十二)	128,886	1	139,705	1	152,936	1
1840	遞延所得稅資產		35,440	-	24,627	-	22,711	-
1900	其他非流動資產	六(十三)	152,197	1	148,438	1	174,126	2
15XX	**非流動資產合計**		4,576,675	42	4,824,945	43	4,965,827	43
1XXX	**資產總計**		$ 10,934,352	100	$ 11,262,248	100	$ 11,591,900	100

（續次頁）

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國106年9月30日及民國105年12月31日、9月30日

(民國106年及105年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	負債及權益	附註	106年9月30日 金額	%	105年12月31日 金額	%	105年9月30日 金額	%
	流動負債							
2100	短期借款	六(十四)	$ 927,788	9	$ 928,263	8	$ 1,149,003	10
2110	應付短期票券	六(十五)	99,886	1	99,884	1	109,871	1
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動	六(十六)	1,510	-	7,803	-	2,517	-
2150	應付票據		157,133	2	196,503	2	172,228	2
2170	應付帳款		1,131,775	10	1,206,485	11	1,178,192	10
2200	其他應付款	六(十七)(三十五)	790,540	7	839,297	7	897,912	8
2230	本期所得稅負債		9,620	-	20,352	-	19,142	-
2300	其他流動負債	六(十八)(二十二)	339,364	3	352,862	3	277,869	2
21XX	**流動負債合計**		3,457,616	32	3,651,449	32	3,806,734	33
	非流動負債							
2530	應付公司債	六(十九)	1,191,392	11	1,175,567	10	1,253,425	11
2540	長期借款	六(二十)及八	261,877	2	198,962	2	246,604	2
2570	遞延所得稅負債		169,019	1	171,638	2	177,908	1
2600	其他非流動負債	六(二十一)(二十二)	298,141	3	313,082	3	346,355	3
25XX	**非流動負債合計**		1,920,429	17	1,859,249	17	2,024,292	17
2XXX	**負債總計**		5,378,045	49	5,510,698	49	5,831,026	50
	歸屬於母公司業主之權益							
	股本	六(二十四)						
3110	普通股股本		1,085,597	10	1,027,865	9	1,027,865	9
	資本公積	六(二十五)及七						
3200	資本公積		1,529,078	14	1,576,429	14	1,576,429	13
	保留盈餘	六(二十六)						
3310	法定盈餘公積		335,934	3	328,807	3	328,807	3
3350	未分配盈餘		1,295,270	12	1,178,465	11	1,230,878	11
	其他權益	七						
3400	其他權益		(116,584)	(1)	44,322	-	40,490	-
3500	**庫藏股票**	六(二十四)	(5,714)	-	(5,714)	-	(5,714)	-
31XX	**歸屬於母公司業主之權益合計**		4,123,581	38	4,150,174	37	4,198,755	36
36XX	**非控制權益**	六(二十七)	1,432,726	13	1,601,376	14	1,562,119	14
3XXX	**權益總計**		5,556,307	51	5,751,550	51	5,760,874	50
	重大或有負債及未認列之合約承諾	九						
3X2X	**負債及權益總計**		$ 10,934,352	100	$ 11,262,248	100	$ 11,591,900	100

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：董俊仁　　經理人：李敏誠　　會計主管：李慧珠

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國106年及105年1月1日至9月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除每股盈餘為新台幣元外）

	項目	附註	106年7月1日至9月30日 金額	%	105年7月1日至9月30日 金額	%	106年1月1日至9月30日 金額	%	105年1月1日至9月30日 金額	%
4000	**營業收入**	七	$ 2,316,887	100	$ 2,427,859	100	$ 5,868,678	100	$ 5,701,604	100
5000	**營業成本**	六(八)(三十一)	(1,983,990)	(86)	(2,041,245)	(84)	(5,080,584)	(87)	(4,790,680)	(84)
5900	**營業毛利**		332,897	14	386,614	16	788,094	13	910,924	16
	營業費用	六(三十一)及七								
6100	推銷費用		(76,977)	(3)	(103,444)	(4)	(203,372)	(3)	(246,391)	(4)
6200	管理費用		(129,441)	(5)	(154,711)	(6)	(369,163)	(6)	(445,593)	(8)
6300	研究發展費用		(13,580)	(1)	(15,338)	(1)	(40,426)	(1)	(45,331)	(1)
6000	**營業費用合計**		(219,998)	(9)	(273,493)	(11)	(612,961)	(10)	(737,315)	(13)
6900	**營業利益**		112,899	5	113,121	5	175,133	3	173,609	3
	營業外收入及支出									
7010	其他收入	六(二十八)	28,409	1	17,103	1	65,504	1	35,171	1
7020	其他利益及損失	六(二十九)	12,376	1	(91,797)	(4)	46,051	1	(24,442)	(1)
7050	財務成本	六(三十)	(13,632)	(1)	(16,967)	(1)	(38,089)	(1)	(46,150)	(1)
7060	採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額	六(十)	(6,995)	-	1,558	-	(13,689)	-	(3,590)	-
7000	**營業外收入及支出合計**		20,158	1	(90,103)	(4)	59,777	1	(39,011)	(1)
7900	**稅前淨利**		133,057	6	23,018	1	234,910	4	134,598	2
7950	所得稅費用	六(三十二)	(8,719)	(1)	(15,905)	(1)	(12,341)	-	(30,968)	-
8200	**本期淨利**		$ 124,338	5	$ 7,113	-	$ 222,569	4	$ 103,630	2

（續次頁）

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國106年及105年1月1日至9月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除每股盈餘為新台幣元外）

	項目	附註	106年7月1日至9月30日 金額	%	105年7月1日至9月30日 金額	%	106年1月1日至9月30日 金額	%	105年1月1日至9月30日 金額	%
	其他綜合損益									
	後續可能重分類至損益之項目									
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額		$ 35,394	2	($ 151,483)	(6)	($ 153,801)	(3)	($ 242,858)	(4)
8362	備供出售金融資產未實現評價損益	六(三)	1,911	-	(41,157)	(2)	(67,520)	(1)	(96,523)	(2)
8370	採用權益法認列關聯企業及合資之其他綜合損益之份額-可能重分類至損益之項目		(2,254)	-	(288)	-	(5,557)	-	973	-
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅	六(三十二)	(2,475)	-	7,525	1	6,359	-	16,737	-
8360	**後續可能重分類至損益之項目總額**		32,576	2	(185,403)	(7)	(220,519)	(4)	(321,671)	(6)
8300	**其他綜合損益(淨額)**		$ 32,576	2	($ 185,403)	(7)	($ 220,519)	(4)	($ 321,671)	(6)
8500	**本期綜合損益總額**		$ 156,914	7	($ 178,290)	(7)	$ 2,050	-	($ 218,041)	(4)
	淨利（損）歸屬於：									
8610	母公司業主		$ 109,645	4	$ 18,206	-	$ 191,839	3	$ 121,579	2
8620	非控制權益		14,693	1	(11,093)	-	30,730	1	(17,949)	-
			$ 124,338	5	$ 7,113	-	$ 222,569	4	$ 103,630	2
	綜合損益總額歸屬於：									
8710	母公司業主		$ 148,040	7	($ 132,278)	(5)	$ 22,223	-	($ 170,090)	(3)
8720	非控制權益		8,874	-	(46,012)	(2)	(20,173)	-	(47,951)	(1)
			$ 156,914	7	($ 178,290)	(7)	$ 2,050	-	($ 218,041)	(4)
	基本每股盈餘	六(三十三)								
9750	**基本每股盈餘**		$ 1.02		$ 0.18		$ 1.78		$ 1.23	
	稀釋每股盈餘									
9850	**稀釋每股盈餘**		$ 0.87		$ 0.18		$ 1.57		$ 1.12	

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：董俊仁　　經理人：李敏誠　　會計主管：李慧珠

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國106年及105年1月1日至9月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	歸屬於母公司業主之權益									
				保留盈餘		其他權益					
		普通股股本	資本公積	法定盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現損益	庫藏股票	總計	非控制權益	權益總額
105年1月1日至9月30日											
105年1月1日餘額		$ 995,835	$1,453,217	$ 328,059	$1,209,630	$ 207,521	$ 124,638	($ 5,714)	$4,313,186	$1,688,807	$6,001,993
104年盈餘指撥及分配：											
提列法定盈餘公積		-	-	748	(748)	-	-	-	-	-	-
現金股利	六(二十六)	-	-	-	(99,583)	-	-	-	(99,583)	-	(99,583)
本期淨利		-	-	-	121,579	-	-	-	121,579	(17,949)	103,630
本期其他綜合(損)益		-	-	-	-	(199,915)	(91,754)	-	(291,669)	(30,002)	(321,671)
買回可轉換公司債	六(十九)(二十五)	-	(5,645)	-	-	-	-	-	(5,645)	-	(5,645)
可轉換公司債轉換	六(二十五)	32,030	126,681	-	-	-	-	-	158,711	-	158,711
子公司權益變動數	六(二十五)	-	527	-	-	-	-	-	527	(78,737)	(78,210)
關聯企業權益變動數	六(二十五)	-	1,649	-	-	-	-	-	1,649	-	1,649
105年9月30日餘額		$1,027,865	$1,576,429	$ 328,807	$1,230,878	$ 7,606	$ 32,884	($ 5,714)	$4,198,755	$1,562,119	$5,760,874
106年1月1日至9月30日											
106年1月1日餘額		$1,027,865	$1,576,429	$ 328,807	$1,178,465	$ 8,400	$ 35,922	($ 5,714)	$4,150,174	$1,601,376	$5,751,550
105年盈餘指撥及分配：											
提列法定盈餘公積		-	-	7,127	(7,127)	-	-	-	-	-	-
現金股利	六(二十六)	-	-	-	(6,415)	-	-	-	(6,415)	-	(6,415)
股票股利	六(二十六)	57,732	-	-	(57,732)	-	-	-	-	-	-
資本公積配發現金股利	六(二十六)	-	(38,640)	-	-	-	-	-	(38,640)	-	(38,640)
本期淨利		-	-	-	191,839	-	-	-	191,839	30,730	222,569
本期其他綜合(損)益		-	-	-	-	(126,178)	(43,438)	-	(169,616)	(50,903)	(220,519)
處分子公司	六(二十七)	-	-	-	-	-	-	-	-	(10,637)	(10,637)
組織重組影響數	六(二十五)及七	-	(9,082)	-	-	8,247	-	-	(835)	-	(835)
子公司權益變動數	六(二十五)(二十七)	-	344	-	(34)	-	-	-	310	(137,840)	(137,530)
關聯企業權益變動數	六(二十五)	-	27	-	(3,726)	463	-	-	(3,236)	-	(3,236)
106年9月30日餘額		$1,085,597	$1,529,078	$ 335,934	$1,295,270	($ 109,068)	($ 7,516)	($ 5,714)	$4,123,581	$1,432,726	$5,556,307

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：董俊仁　　經理人：李敏誠　　會計主管：李慧珠

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國106年及105年1月1日至9月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
營業活動之現金流量			
本期稅前淨利		$ 234,910	$ 134,598
調整項目			
收益費損項目			
折舊費用	六(十一)(三十一)	433,620	416,526
攤銷費用	六(十二)(三十一)	12,365	18,132
透過損益按公允價值衡量之金融資產(利益)損失	六(二十九)	25,236	38,975
透過損益按公允價值衡量之金融負債利益	六(二十九)	(6,293)	(2,805)
採用權益法認列之投資損失	六(十)	13,689	3,590
處分不動產、廠房及設備(利益)損失	六(二十九)	(976)	2,636
處分投資利益	六(二十九)	(102,644)	(164,580)
減損損失	六(二十九)	-	133,065
利息收入	六(二十八)	(13,692)	(9,569)
股利收入	六(二十八)	(19,521)	(16,235)
利息費用	六(三十)	20,859	27,328
應付公司債折價攤銷	六(三十)	17,230	18,822
應付公司債贖回利益	六(二十九)	-	(954)
與營業活動相關之資產/負債變動數			
與營業活動相關之資產之淨變動			
透過損益按公允價值衡量之金融資產		97,107	(20,091)
應收票據		38,628	78,926
應收帳款(含關係人)		(124,834)	(508,834)
其他應收款		84,797	(184,568)
存貨		(81,159)	(226,592)
預付款項		(13,548)	2,710
其他流動資產		618	4,273
其他非流動資產	六(十三)	1,249	1,557
與營業活動相關之負債之淨變動			
應付票據		(36,400)	(2,764)
應付帳款(含關係人)		(15,400)	270,501
其他應付款		40,432	310,312
其他流動負債		(5,113)	34,801
其他非流動負債		(519)	(3,977)
營運產生之現金流入		600,641	355,783
收取之利息		13,692	9,569
收取之股利		32,462	24,999
支付之利息		(20,859)	(27,328)
支付之所得稅		(29,234)	(75,564)
營業活動之淨現金流入		596,702	287,459

(續次頁)

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國106年及105年1月1日至9月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
投資活動之現金流量			
無活絡市場之債務工具投資(增加)減少		($ 87)	$ 39,908
取得備供出售金融資產	六(三十六)	(202,726)	(126,948)
處分備供出售金融資產	六(三十六)	236,336	209,795
取得以成本衡量之金融資產		(147,612)	(95,239)
處分以成本衡量之金融資產		5,461	-
取得採用權益法之投資		(10,000)	(128,040)
處分採用權益法之投資		26,145	-
取得不動產、廠房及設備	六(三十六)	(291,191)	(1,068,483)
處分不動產、廠房及設備	六(三十六)	18,756	82,642
取得無形資產	六(十二)	(3,163)	(5,344)
其他非流動資產(增加)減少		(81,020)	50,930
出售子公司之淨現金變動影響數	六(三十六)	28,933	-
投資活動之淨現金流出		(420,168)	(1,040,779)
籌資活動之現金流量			
短期借款增加		64,025	197,608
應付短期票券增加(減少)		2	(22)
長期借款增加		58,539	51,157
應付公司債買回價款	六(十九)	-	(70,400)
其他非流動負債(減少)增加		(12,579)	25,923
取得子公司股權	六(二十七)(三十五)	(103,884)	-
發放現金股利		(6,366)	(98,797)
資本公積配發放現金股利		(38,345)	-
子公司發放現金股利-非控制權益	六(二十七)	(34,118)	(78,737)
籌資活動之淨現金(流出)流入		(72,726)	26,732
匯率變動對現金及約當現金減少		(117,224)	(137,980)
本期現金及約當現金減少數		(13,416)	(864,568)
期初現金及約當現金餘額		2,470,505	3,350,736
期末現金及約當現金餘額		$ 2,457,089	$ 2,486,168

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：董俊仁　　經理人：李敏誠　　會計主管：李慧珠

應華精密科技股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國106年及105年第三季

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

一、公司沿革

應華精密科技股份有限公司(以下簡稱「本公司」)原名為怡安科技股份有限公司，設立於民國83年12月29日，民國93年6月更名為應華精密科技股份有限公司，並於同年遷址至台北市。本公司股票民國88年6月14日起於證券櫃檯買賣中心上櫃買賣。本公司及子公司（以下統稱「本集團」）主要經營項目為各種鋁合金、塑膠壓鑄品、相關模具之製造、電動及氣動手工具零件加工製造、加工買賣及進出口貿易業務等。能率投資股份有限公司(以下簡稱「能率投資」)持有本公司 23.15%股權，並取得本公司過半數之董事席位，為本集團之最終母公司。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告已於民國106年11月9日提報董事會後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)已採用金融監督管理委員會(以下簡稱「金管會」)認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 106 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第10號、第12號及國際會計準則第28號之修正「投資個體：適用合併報表之例外規定」	民國105年1月1日
國際財務報導準則第11號之修正「取得聯合營運權益之會計處理」	民國105年1月1日
國際財務報導準則第14號「管制遞延帳戶」	民國105年1月1日
國際會計準則第1號之修正「揭露倡議」	民國105年1月1日
國際會計準則第16號及第38號之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」	民國105年1月1日

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際會計準則第16號及第41號之修正「農業：生產性植物」	民國105年1月1日
國際會計準則第19號之修正「確定福利計畫：員工提撥」	民國103年7月1日
國際會計準則第27號之修正「單獨財務報表之權益法」	民國105年1月1日
國際會計準則第36號之修正「非金融資產可回收金額之揭露」	民國103年1月1日
國際會計準則第39號之修正「衍生工具之約務更替與避險會計之持續適用」	民國103年1月1日
國際財務報導解釋第21號「公課」	民國103年1月1日
2010-2012週期之年度改善	民國103年7月1日
2011-2013週期之年度改善	民國103年7月1日
2012-2014週期之年度改善	民國105年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(二)尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 107 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第2號之修正「股份基礎給付交易之分類及衡量」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第4號之修正「屬國際財務報導準則第4號之保險合約適用國際財務報導準則第9號『金融工具』之方法」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第9號「金融工具」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第15號之修正「國際財務報導準則第15號『客戶合約之收入』之闡釋」	民國107年1月1日
國際會計準則第7號之修正「揭露倡議」	民國106年1月1日
國際會計準則第12號之修正「未實現損失遞延所得稅資產之認列」	民國106年1月1日
國際會計準則第40號之修正「投資性不動產之轉換」	民國107年1月1日
國際財務報導解釋第22號「外幣交易及預收付對價」	民國107年1月1日

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
2014-2016週期之年度改善-國際財務報導準則第1號「首次採用國際財務報導準則」	民國107年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際財務報導準則第12號「對其他個體之權益之揭露」	民國106年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際會計準則第28號「投資關聯企業及合資」	民國107年1月1日

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響，相關影響金額待評估完成時予以揭露：

1.國際財務報導準則第 9 號「金融工具」

(1)金融資產債務工具按企業之經營模式及合約現金流量特性判斷，可分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產、透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產及按攤銷後成本衡量之金融資產；金融資產權益工具分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產，除非企業作不可撤銷之選擇將非交易目的之權益工具的公允價值認列於其他綜合損益。

(2)金融資產債務工具之減損評估應採預期信用損失模式，於每一資產負債表日評估該工具之信用風險是否有顯著增加，以適用 12 個月之預期信用損失或存續期間之預期信用損失(於發生減損前之利息收入按資產帳面總額估計)；或是否業已發生減損，於發生減損後之利息收入按提列備抵呆帳後之帳面淨額估計。應收帳款(不包含重大財務組成部分)應按存續期間之預期信用損失衡量備抵損失。

2.國際財務報導準則第 15 號「客戶合約之收入」

國際財務報導準則第 15 號「客戶合約之收入」取代國際會計準則第 11 號「建造合約」、國際會計準則第 18 號「收入」以及其相關解釋及解釋公告。按準則規定收入應於客戶取得對商品或勞務之控制時認列，當客戶已具有主導資產之使用並取得該資產之幾乎所有剩餘效益之能力時表示客戶取得對商品或勞務之控制。

此準則之核心原則為「企業認列收入以描述對客戶所承諾之商品或勞務之移轉，該收入之金額反映該等商品或勞務換得之預期有權取得之對價」。企業按核心原則認列收入時需運用下列五步驟來決定收入認列的時點及金額：

步驟 1：辨認客戶合約。

步驟 2：辨認合約中之履約義務。

步驟 3：決定交易價格。

步驟 4：將交易價格分攤至合約中之履約義務。
步驟 5：於（或隨）企業滿足履約義務時認列收入。

此外，準則亦包括一套整合性之揭露規定，該等規定將使企業對財務報表使用者提供有關客戶合約所產生之收入與現金流量之性質、金額、時間及不確定性之綜合資訊。

3. 國際財務報導準則第 15 號之修正「國際財務報導準則第 15 號『客戶合約之收入』之闡釋」

此修正釐清如何辨認合約中的履約義務(即承諾移轉商品或勞務予客戶)；如何決定企業為主理人(提供商品或勞務)或代理人(負責安排商品或勞務之提供)；以及決定由授權取得之收入應於某一時點或於一段期間內認列。除上述之釐清外，此修正尚包含兩項新增的簡化規定，以降低企業首次適用新準則時之成本及複雜度。

4. 國際會計準則第 7 號之修正「揭露倡議」

此修正要求企業增加揭露有關(來自)籌資活動之負債變動，包括來自現金及非現金之變動。

5. 國際會計準則第 12 號之修正「未實現損失遞延所得稅資產之認列」

此修正係釐清有關未實現損失之遞延所得稅資產認列，亦同時釐清了一些遞延所得稅資產會計之一般基礎原則。此修正釐清對於以公允價值列報之資產，當其帳面金額低於課稅基礎時，仍然會產生可減除暫時性差異，於評估是否有足夠之課稅所得以供可減除暫時性差異使用時，除稅法有限制外，應將所有可減除暫時性差異合併評估，且不考慮暫時性差異所造成之課稅所得減少。

6. 國際財務報導解釋第 22 號「外幣交易及預收付對價」

此解釋說明以外幣計價合約之交易日，為企業於認列相關資產、費用及收益前，預先收取或支付對價而原始認列非貨幣性資產或負債之日。

7. 2014-2016 週期之年度改善

國際會計準則第 28 號「投資關聯企業及合資」

國際會計準則第 28 號允許當對關聯企業或合資之投資係直接或間接透過屬創業投資組織或共同基金、單位信託及類似個體（包括與投資連結之保險基金）之個體所持有時，該個體得選擇依國際財務報導準則第 9 號「金融工具」之規定，透過損益按公允價值以衡量對該等關聯企業或合資之投資。此修正釐清企業適用前述規定時，應於原始認列每一關聯企業或合資時分別選擇。

(三)國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第9號之修正「具有負補償之提前還款選擇權」	民國108年1月1日
國際財務報導準則第10號及國際會計準則第28號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待國際會計準則理事會決定
國際財務報導準則第16號「租賃」	民國108年1月1日
國際財務報導準則第17號「保險合約」	民國110年1月1日
國際會計準則第28號之修正「關聯企業與合資之長期權益」	民國108年1月1日
國際財務報導解釋第23號「不確定性之所得稅處理」	民國108年1月1日

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響，相關影響金額待評估完成時予以揭露：

1. 國際財務報導準則第 16 號「租賃」

   國際財務報導準則第 16 號「租賃」取代國際會計準則第 17 號「租賃」及其相關解釋及解釋公告。此準則規定承租人應認列使用權資產及租賃負債（除租賃期間短於 12 個月或低價值標的資產之租賃外）；出租人會計處理仍相同，按營業租賃及融資租賃兩種類型處理，僅增加相關揭露。

2. 國際財務報導解釋第 23 號「不確定性之所得稅處理」

   此解釋釐清當所得稅處理存有不確定性時，企業應依據此解釋決定課稅所得(課稅損失)、課稅基礎、未使用課稅損失、未使用所得稅抵減及稅率，依國際會計準則第 12 號「所得稅」之規定認列及衡量其當期與遞延所得稅資產/負債。

四、重大會計政策之彙總說明

編製本合併財務報告所採用之主要會計政策說明如下。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致地適用。

(一)遵循聲明

本合併財務報告係依據證券發行人財務報告編製準則與金管會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製。

(二)編製基礎

1.除下列重要項目外，本合併財務報告係按歷史成本編製：

(1)按公允價值衡量之透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債(包括衍生工具)。

(2)按公允價值衡量之備供出售金融資產。

(3)按公允價值衡量之現金交割股份基礎給付協議之負債。

(4)按退休基金資產減除確定福利義務現值之淨額認列之確定福利負債。

2.編製符合金管會認可之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告(以下簡稱 IFRSs)之財務報告需要使用一些重要會計估計，在應用本集團的會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷，涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及合併財務報告之重大假設及估計之項目，請詳附註五說明。

(三)合併基礎

1.合併財務報告編製原則

(1)本集團將所有子公司納入合併財務報告編製之個體。子公司指受本集團控制之個體(包括結構型個體)，當本集團暴露於來自對該個體之參與之變動報酬或對該等變動報酬享有權利，且透過該個體之權利有能利影響該等報酬時，本集團即控制該個體。子公司自本集團取得控制之日起納入合併財務報告，於喪失控制之日起終止合併。

(2)集團內公司間之交易、餘額及未實現損益業已銷除。子公司之會計政策已作必要之調整，與本集團採用之政策一致。

(3)損益及其他綜合損益各組成部分歸屬於母公司業主及非控制權益；綜合損益總額亦歸屬於母公司業主及非控制權益，即使因而導致非控制權益發生虧損餘額。

(4)對子公司持股之變動若未導致喪失控制(與非控制權益之交易)，係作為權益交易處理，亦即視為與業主間進行之交易。非控制權益之調整金額與所支付或收取對價之公允價值間之差額係直接認列於權益。

(5)當集團喪失對子公司之控制，對前子公司之剩餘投資係按公允價值重新衡量，並作為原始認列金融資產之公允價值或原始認列投資關聯企業或合資之成本，公允價值與帳面金額之差額認列為當期損益。對於先前認列於其他綜合損益與該子公司有關之所有金額，其會計處理與本集團若直接處分相關資產或負債之基礎相同，亦即如先前認列為其他綜合損益之利益或損失，於處分相關資產或負債時將被重分類為損益，則當喪失對子公司之控制時，將該利益或損失自權益重分類為損益。

2.列入合併財務報告之子公司：

投資公司	子公司		所持股權百分比(%)			
名　　稱	名　　稱	業務性質	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日	說明
應華精密科技股份有限公司	應華工業股份有限公司(應華工業)	光學器具、電子產品及零件、精密模具之製造加工買賣業	100.00	100.00	100.00	-
應華精密科技股份有限公司	捷邦國際科技股份有限公司(捷邦國際)	軸受及軸承等冶金製品 、汽機車及機械零組件 、磁性材料、電子零組件、精密陶磁等之研究開發、加工、製造及內外銷業務	21.03	21.03	21.03	取得過半數之董事席次
應華精密科技股份有限公司及應華工業股份有限公司	Gold Market Investments Ltd.(Gold Market Investments)	轉投資及貿易	100.00	100.00	100.00	-
應華精密科技股份有限公司	Avy High Tech Ltd.(Avy High Tech)	轉投資及貿易	100.00	100.00	100.00	-
應華精密科技股份有限公司	Avy Technology Ltd.(Avy Technology)	轉投資及貿易	100.00	100.00	100.00	-
應華精密科技股份有限公司	Shine Trade International Ltd.(Shine Trade)	電子零組件製造、電子材料零售及模具製造零售等	48.72	100.00	100.00	註4
Shine Trade International Ltd.	東莞亞昕精密塑膠有限公司(東莞亞昕)	電子零組件製造、電子材料零售及模具製造零售等	100.00	100.00	100.00	註4
應華精密科技股份有限公司	能率壹創業投資股份有限公司(能率壹創投)	創業投資業	48.30	48.30	48.30	取得過半數之董事席次
應華精密科技股份有限公司及能率壹創業投資股份有限公司	ABICO Global Holdings Ltd.(ABICO Global)	轉投資業務	-	65.64	65.64	註1 註2 註3

投資公司	子公司		所持股權百分比(%)			
名　　稱	名　　稱	業務性質	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日	說明
應華精密科技股份有限公司及能率壹創業投資股份有限公司	ABICO Optical(HK) Ltd.(ABICO Optical)	轉投資業務	65.70	-	-	註1 註3
ABICO Global Holdings Ltd.	ABICO Optical(HK) Ltd.(ABICO Optical)	轉投資業務	-	100.00	100.00	註1 註3
ABICO Optical(HK) Ltd.	長春市精能眼鏡有限公司(精能眼鏡)	醫療器材買賣等	100.00	100.00	100.00	清算中 註1 註2
Gold Market Investments Ltd.	東莞承光五金製品有限公司(東莞承光)	電子零組件製造、電子材料零售及模具製造零售等	100.00	100.00	100.00	-
捷邦國際科技股份有限公司	捷邦精密股份有限公司(捷邦精密)	工業用塑膠製品、鋁鑄、鎂鑄、電腦及其週邊備品及模具製造等業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
捷邦國際科技股份有限公司	毅金精密股份有限公司(毅金精密)	軸受及軸承等冶金製品、汽機車及機械等零組件、磁性材料、電子零組件及精密陶瓷等之研究開發、加工及內外銷業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
捷邦國際科技股份有限公司	Phoenix Place Holdings Ltd.(Phoenix Place Holdings)	轉投資業務	100.00	100.00	100.00	-
捷邦國際科技股份有限公司、Avy High Tech Ltd.及能率壹創業投資股份有限公司	DaiichiKasie Holdings Co.,Ltd.(DaiichiKasie Holdings)	塑膠零件及產品之進出口、製造及販售、汽車運送、保管及倉管業務、保險代理業務、不動產買賣、租賃及管理業務	90.00	75.00	75.00	-
捷邦國際科技股份有限公司	捷誠科技股份有限公司(捷誠科技)	電子零組件製造業、電腦及周邊設備製造業、資料儲存媒體製造及複製業及自動控制設備工程等業務	100.00	100.00	-	民國105年10月新成立 註1

投資公司	子公司		所持股權百分比(%)			
名　稱	名　稱	業務性質	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日	說明
毅金精密股份有限公司	鋅呈工業股份有限公司(鋅呈工業)	金屬製品製造及買賣業務	-	50.00	50.00	註2 註5
Phoenix Place Holdings Ltd.	Best Achieve Industrial Ltd.(Best Achieve Industrial)	貿易業務	100.00	100.00	100.00	-
Phoenix Place Holdings Ltd.	Cranmer Enterprises Ltd.(Cranmer Enterprises)	貿易業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
Phoenix Place Holdings Ltd.	Precise Plus Group Ltd.(Precise Plus Group)	貿易業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
Phoenix Place Holdings Ltd.	Best Select Industrial Ltd.(Best Select Industrial)	轉投資業務	100.00	100.00	100.00	-
Phoenix Place Holdings Ltd.	Sinobridge Corporation	貿易業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
Cranmer Enterprises Ltd.	東莞群勝粉末冶金有限公司(東莞群勝)	生產及銷售粉末冶金製品及傳動器組裝等業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
Precise Plus Group Ltd.	東莞百事得電動工具有限公司(東莞百事得)	生產及銷售電動工具及相關零配件等業務	100.00	100.00	100.00	-
Best Select Industrial Ltd.	群勝科技(蘇州)有限公司(群勝蘇州)	生產、研發有色金屬複合材料、新型合金材料及相關製品等及銷售公司自產產品等業務	100.00	100.00	100.00	-
DaiichiKasei Holdings Co., Ltd.	DaiichiKasei Co.,Ltd. (DaiichiKasei)	塑膠零件及產品之進出口、製造、及販售、汽車運送、保管及倉管業務、保險代理業務、不動產買賣、租賃及管理業務	100.00	100.00	100.00	-

投資公司 名稱	子公司 名稱	業務性質	所持股權百分比(%) 106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日	說明
DaiichiKasei Holdings Co.,Ltd.及 DaiichiKasei Co.,Ltd.	M.A.C Technology (Malaysia) San.Bhd.(M.A.C Technology)	CD及CD ROM之裝製、電腦印表機、電子及工業用精密陶瓷及模具、電子及相機產業塑膠射出元件	100.00	100.00	100.00	註1 註2
DaiichiKasei Co.,Ltd.	IKKA Technology (Vietnam) Co.,Ltd. (IKKA Vietnam)	生產經營及加工汽、機車及辦公室設備常用塑膠及金屬零件	100.00	100.00	100.00	註1 註2
DaiichiKasei Co.,Ltd.	IKKA (Hong Kong) Co.,Ltd. (IKKA HK)	轉投資及貿易業務	100.00	100.00	100.00	註1 註2
IKKA (Hong Kong) Co.,Ltd.	東莞一化精密注塑模具有限公司 (東莞一化精密)	生產及銷售精密塑膠配件、五金配件、承軸及模具	100.00	100.00	100.00	註1 註2

註1：因不符合重要子公司定義，其民國106年9月30日之財務報告未經會計師核閱。

註2：因不符合重要子公司定義，其民國105年9月30日之財務報告未經會計師核閱。

註3：ABICO Optical民國106年第一季與ABICO Global合併後為存續公司，本公司及能率壹創投因而直接持有ABICO Optical之股權。

註4：本公司民國106年第一季出售其持有Shine Trade 51.28%之股權予關係人-禮興塑膠(香港)有限公司，出售後持股比例由100%降為48.72%，同時喪失控制力，故不再納入合併財務報告。

註5：本集團民國106年第一季透過子公司-毅金精密出售其持有鋅呈工業50%之股權，出售後持股比例由50%降為0%，故不再納入合併財務報告。

3.未列入合併財務報告之子公司：無此情形。

4.子公司會計期間不同之調整及處理方式：無此情形。

5.重大限制：無此情形。

6.對本集團具重大性之非控制權益之子公司：

(1)對本集團具重大性之非控制權益及所屬子公司之資訊：

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益 106年9月30日 金額	非控制權益 106年9月30日 持股百分比	非控制權益 105年12月31日 金額	非控制權益 105年12月31日 持股百分比
能率壹創投	台灣	$ 417,831	51.70%	$ 461,652	51.70%
捷邦國際	台灣	1,014,134	78.97%	1,139,695	78.97%

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益 105年9月30日 金額	非控制權益 105年9月30日 持股百分比
能率壹創投	台灣	$ 468,945	51.70%
捷邦國際	台灣	1,092,918	78.97%

(2)子公司彙總性財務資訊：

資產負債表

	能率壹創投 106年9月30日	能率壹創投 105年12月31日	能率壹創投 105年9月30日
流動資產	$ 313,734	$ 433,946	$ 449,665
非流動資產	494,449	463,986	462,085
流動負債	-	(358)	-
非流動負債	-	(4,630)	(4,699)
淨資產總額	$ 808,183	$ 892,944	$ 907,051

	捷邦國際 106年9月30日	捷邦國際 105年12月31日	捷邦國際 105年9月30日
流動資產	$ 2,568,264	$ 2,536,028	$ 2,601,280
非流動資產	2,086,007	2,178,414	2,309,330
流動負債	(2,538,656)	(2,531,371)	(2,629,449)
非流動負債	(683,728)	(632,641)	(800,654)
淨資產總額	$ 1,431,887	$ 1,550,430	$ 1,480,507

綜合損益表

	能率壹創投	
	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
收入	$ -	$ -
稅前淨損	($ 15,801)	($ 56,785)
所得稅利益	848	109
本期淨損	(14,953)	(56,676)
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(23,808)	(14,065)
本期綜合(損)益總額	($ 38,761)	($ 70,741)
綜合(損)益總額歸屬於非控制權益	($ 20,040)	($ 36,562)

	能率壹創投	
	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
收入	$ -	$ -
稅前淨損	($ 30,753)	($ 79,100)
所得稅利益(費用)	654	(169)
本期淨損	(30,099)	(79,269)
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(54,661)	7,520
本期綜合(損)益總額	($ 84,760)	($ 71,749)
綜合(損)益總額歸屬於非控制權益	($ 43,821)	($ 37,074)

	捷邦國際	
	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
收入	$ 1,380,493	$ 1,405,201
稅前淨利	$ 46,028	$ 33,126
所得稅費用	(9,773)	(3,828)
本期淨利	36,255	29,298
其他綜合(損)益(稅後淨額)	9,076	(38,965)
本期綜合(損)益總額	$ 45,331	($ 9,667)
綜合(損)益總額歸屬於非控制權益	$ 28,985	($ 9,334)

	捷邦國際	
	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
收入	$ 3,958,387	$ 3,875,029
稅前淨利	$ 92,171	$ 52,496
所得稅費用	(22,340)	(15,582)
本期淨利	69,831	36,914
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(30,649)	(47,414)
本期綜合(損)益總額	$ 39,182	($ 10,500)
綜合(損)益總額歸屬於非控制權益	$ 22,989	($ 10,692)

現金流量表

	能率壹創投	
	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
營業活動之淨現金流入	$ 33,382	$ 17,635
投資活動之淨現金流出	(126,118)	(151,897)
本期現金及約當現金減少	(92,736)	(134,262)
期初現金及約當現金餘額	185,510	314,124
期末現金及約當現金餘額	$ 92,774	$ 179,862

	捷邦國際	
	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
營業活動之淨現金流入	$ 178,197	$ 329,612
投資活動之淨現金流出	(232,046)	(483,899)
籌資活動之淨現金流入	(35,937)	179,155
匯率變動對現金及約當現金之影響	(17,840)	(48,452)
本期現金及約當現金減少	(107,626)	(23,584)
期初現金及約當現金餘額	649,610	677,521
期末現金及約當現金餘額	$ 541,984	$ 653,937

(四)外幣換算

本集團內每一個體之財務報告所列之項目，均係以該個體營運所處主要經濟環境之貨幣(即功能性貨幣)衡量。本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣「新台幣」作為表達貨幣列報。

1.外幣交易及餘額

(1)外幣交易採用交易日或衡量日之即期匯率換算為功能性貨幣，換算此等交易產生之換算差額認列為當期損益。

(2)外幣貨幣性資產及負債餘額，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之換算差額認列為當期損益。

(3)外幣非貨幣性資產及負債餘額，屬透過損益按公允價值衡量者，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之兌換差額認列為當期損益；屬透過綜合損益按公允價值衡量者，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之兌換差額認列於其他綜合損益項目；屬非按公允價值衡量者，則按初始交易日之歷史匯率衡量。

(4)所有兌換損益於損益表之「其他利益及損失」列報。

2.國外營運機構之換算

(1)功能性貨幣與表達貨幣不同之所有集團個體及關聯企業，其經營結果和財務狀況以下列方式換算為表達貨幣：

A.表達於每一資產負債表之資產及負債係以該資產負債表日之收盤匯率換算；

B.表達於每一綜合損益表之收益及費損係以當期平均匯率換算；及

C.所有因換算而產生之兌換差額認列為其他綜合損益。

(2)當部分處分或出售之國外營運機構為關聯企業，將於其他綜合損益項下之兌換差額按比例重分類於當期損益作為出售利益或損失之一部分。惟當本集團即使仍保留對前關聯企業之部分權益，但已喪失對國外營運機構屬關聯企業之重大影響，則係以處分對國外營運機構之全部權益處理。

(3)當部分處分或出售之國外營運機構為子公司時，係按比例將認列為其他綜合損益之累計兌換差額重新歸屬予該國外營運機構之非控制權益。惟當本集團即使仍保留對前子公司之部分權益，但已喪失對國外營運機構屬子公司之控制，則係以處分對國外營運機構之全部權益處理。

(五)<u>資產負債區分流動及非流動之分類標準</u>

1.資產符合下列條件之一者，分類為流動資產：

(1)預期將於正常營業週期中實現該資產，或意圖將其出售或消耗者。

(2)主要為交易目的而持有者。

(3)預期於資產負債表日後十二個月內實現者。

(4)現金或約當現金，但於資產負債表日後至少十二個月交換或用以清償負債受到限制者除外。

本集團將所有不符合上述條件之資產分類為非流動。

2.負債符合下列條件之一者，分類為流動負債：

(1)預期將於正常營業週期中清償者。

(2)主要為交易目的而持有者。

(3)預期於資產負債表日後十二個月內到期清償者。

(4)不能無條件將清償期限遞延至資產負債表日後至少十二個月者。負債

之條款，可能依交易對方之選擇，以發行權益工具而導致清償者，不影響其分類。

本集團將所有不符合上述條件之負債分類為非流動。

(六)約當現金

約當現金係指短期並具高度流動性之投資，該投資可隨時轉換成定額現金且價值變動之風險甚小。定期存款符合前述定義且其持有目的係為滿足營運上之短期現金承諾者，分類為約當現金。

(七)透過損益按公允價值衡量之金融資產

1. 透過損益按公允價值衡量之金融資產係指持有供交易之金融資產。金融資產若在取得時主要係為短期內出售，則分類為持有供交易之金融資產。衍生工具除依避險會計被指定為避險項目外，均分類為持有供交易之金融資產。

2. 本集團對於符合交易慣例之透過損益按公允價值衡量之金融資產係採用交易日會計。

3. 透過損益按公允價值衡量之金融資產，於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本則認列為當期損益。續後按公允價值衡量，其公允價值之變動認列於當期損益。對於持有無活絡市場公開報價之權益工具投資，或與此種無活絡市場公開報價權益工具連結且須以交付該等權益工具交割之衍生工具，當其公允價值無法可靠衡量時，本集團將其列報為「以成本衡量之金融資產」。

(八)備供出售金融資產

1. 備供出售金融資產係指定為備供出售或未被分類為任何其他類別之非衍生金融資產。

2. 本集團對於符合交易慣例之備供出售金融資產係採用交易日會計。

3. 備供出售金融資產於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，續後按公允價值衡量，其公允價值之變動認列於其他綜合損益。對於持有無活絡市場公開報價之權益工具投資，或與此種無活絡市場公開報價權益工具連結且須以交付該等權益工具交割之衍生工具，當其公允價值無法可靠衡量時，本集團將其列報為「以成本衡量之金融資產」。

(九)放款及應收款

1. 應收帳款

係屬原始產生之放款及應收款，係在正常營業過程中就商品銷售或服務提供所產生之應收客戶款項。於原始認列時按公允價值衡量，後續採有效利

息法按攤銷後成本扣除減損後之金額衡量。惟屬未付息之短期應收帳款，因折現影響不重大，後續以原始發票金額衡量。

2.無活絡市場之債務工具投資

本集團持有之無活絡市場之債務工具投資為不符合約當現金之定期存款，因持有期間短，折現之影響不重大，係以投資金額衡量。

(十)金融資產減損

1.本集團於每一資產負債表日，評估是否已經存在減損之任何客觀證據，顯示某一或一組金融資產於原始認列後發生一項或多項事項（即「損失事項」)，且該損失事項對一金融資產或一組金融資產之估計未來現金流量具有能可靠估計之影響。

2.本集團用以決定是否存在減損損失之客觀證據的政策如下：

(1)發行人或債務人之重大財務困難；

(2)違約，諸如利息或本金支付之延滯或不償付；

(3)本集團因與債務人財務困難相關之經濟或法律理由，給予債務人原不可能考量之讓步；

(4)債務人將進入破產或其他財務重整之可能性大增；

(5)由於財務困難而使該金融資產之活絡市場消失；

(6)可觀察到之資料顯示，一組金融資產之估計未來現金流量於該等資產原始認列後發生可衡量之減少，雖然該減少尚無法認定係屬該組中之某個別金融資產，該等資料包括該組金融資產之債務人償付狀況之不利變化，或與該組金融資產中資產違約有關之全國性或區域性經濟情況；

(7)發行人所處營運之技術、市場、經濟或法令環境中所發生具不利影響之重大改變的資訊，且該證據顯示可能無法收回該權益投資之投資成本；或

(8)權益工具投資之公允價值大幅或持久性下跌至低於成本。

3.本集團經評估當已存在減損之客觀證據，且已發生減損損失時，按以下各類別處理：

(1)以攤銷後成本衡量之金融資產

係以該資產帳面金額與估計未來現金流量按該金融資產原始有效利率折現之現值間之差額，認列減損損失於當期損益。當後續期間減損損失金額減少，且該減少能客觀地與認列減損後發生之事項相連結，則先前認列之減損損失在未認列減損情況下於迴轉日應有之攤銷後成本之限額內於當期損益迴轉。認列及迴轉減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(2)以成本衡量之金融資產

係以該資產帳面金額與估計未來現金流量按類似金融資產之現時市場報酬率折現之現值間之差額，認列減損損失於當期損益。此類減損損失續後不得迴轉。認列減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(3)備供出售金融資產

係以該資產之取得成本(減除任何已償付之本金及攤銷數)與現時公允價值間之差額，再減除該金融資產先前列入損益之減損損失，自其他綜合損益重分類至當期損益。屬權益工具投資者，其已認列於損益之減損損失不得透過當期損益迴轉。認列及迴轉減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(十一)金融資產之除列

本集團於符合下列情況之一時，將除列金融資產：

1.收取來自金融資產現金流量之合約權利失效。

2.移轉收取金融資產現金流量之合約權利，且業已移轉金融資產所有權之幾乎所有風險及報酬。

3.移轉收取金融資產現金流量之合約權利，惟未保留對金融資產之控制。

(十二)應收租賃款/營業租賃(出租人)

營業租賃之租賃收益扣除給予承租人之任何誘因，於租賃期間按直線法攤銷認列為當期損益。

(十三)存貨

存貨按成本與淨變現價值孰低者衡量，成本依加權平均法決定。製成品及在製品之成本包括原料、直接人工、其他直接成本及生產相關之製造費用(按正常產能分攤)，惟不包括借款成本。比較成本與淨變現價值孰低時，採逐項比較法，淨變現價值係指在正常營業過程中之估計售價減除至完工尚須投入之估計成本及相關變動銷售費用後之餘額。

(十四)採用權益法之投資-關聯企業

1.關聯企業指所有本集團對其有重大影響而無控制之個體，一般係直接或間接持有其 20%以上表決權之股份。本集團對關聯企業之投資採用權益法處理，取得時依成本認列。

2.本集團對關聯企業取得後之損益份額認列為當期損益，對其取得後之其他綜合損益份額則認列為其他綜合損益。如本集團對任一關聯企業之損失份額等於或超過其在該關聯企業之權益（包括任何其他無擔保

之應收款)，本集團不認列進一步之損失，除非本集團對該關聯企業發生法定義務、推定義務或已代其支付款項。

3. 當關聯企業發生非損益及其他綜合損益之權益變動且不影響對關聯企業之持股比例時，本集團將歸屬於本集團可享有關聯企業份額下之權益變動按持股比例認列為「資本公積」。

4. 本集團與關聯企業間交易所產生之未實現損益業已依其對關聯企業之權益比例銷除；除非證據顯示該交易所轉讓之資產已減損，否則未實現損失亦予以銷除。關聯企業之會計政策已作必要之調整，與本集團採用之政策一致。

5. 關聯企業增發新股時，若本集團未按比例認購或取得，致使投資比例發生變動但仍對其有重大影響，該股權淨值變動之增減數係調整「資本公積」及「採用權益法之投資」。若致使投資比例下降者，除上述調整外，與該所有權權益之減少有關而先前已認列於其他綜合損益之利益或損失，且該利益或損失於處分相關資產或負債時須被重分類至損益者，依減少比例重分類至損益。

6. 當集團喪失對關聯企業之重大影響，對原關聯企業之剩餘投資係按公允價值重新衡量，公允價值與帳面金額之差額認列為當期損益。

7. 當集團處分關聯企業時，如喪失對該關聯企業之重大影響，對於先前認列於其他綜合損益與該關聯企業有關之所有金額，其會計處理與本集團若直接處分相關資產或負債之基礎相同，亦即如先前認列為其他綜合損益之利益或損失，於處分相關資產或負債時將被重分類為損益，則當喪失對關聯企業之重大影響時，將該利益或損失自權益重分類為損益。如仍對該關聯企業有重大影響，僅按比例將先前在其他綜合損益中認列之金額依上述方式轉出。

(十五)<u>不動產、廠房及設備</u>

1. 不動產、廠房及設備係以取得成本為入帳基礎。

2. 後續成本只有在與該項目有關之未來經濟效益很有可能流入本集團，且該項目之成本能可靠衡量時，才包括在資產之帳面金額或認列為一項單獨資產。被重置部分之帳面金額應除列。所有其他維修費用於發生時認列為當期損益。

3. 不動產、廠房及設備之後續衡量採成本模式，除土地不提折舊外，其他按估計耐用年限以直線法計提折舊。不動產、廠房及設備各項組成若屬重大，則單獨提列折舊。

4. 本集團於每一財務年度結束日對各項資產之殘值、耐用年限及折舊方法進行檢視，若殘值及耐用年限之預期值與先前之估計不同時，或資產

所含之未來經濟效益之預期消耗型態已有重大變動，則自變動發生日起依國際會計準則第 8 號「會計政策、會計估計變動及錯誤」之會計估計變動規定處理。各項資產之耐用年限如下：

房屋及建築 20 年~65 年、機器設備 2 年~17 年、運輸設備 2 年~10 年、辦公設備 2 年~11 年、租賃資產 2 年~10 年及其他設備 1 年~20 年。

(十六)租賃資產/營業租賃(承租人)

1. 依據租賃契約之條件，當租賃所有權之幾乎所有風險與報酬由本集團承擔時，分類為融資租賃。

(1)於租賃開始時，按租賃資產之公允價值及最低租金給付現值兩者孰低者認列為資產及負債。

(2)後續最低租賃給付分配予財務成本及降低尚未支付之負債，財務成本於租賃期間逐期分攤，以使按負債餘額計算之期間利率固定。

(3)融資租賃下取得之不動產、廠房及設備，按資產之耐用年限提列折舊。若無法合理確定租賃期間屆滿時本集團將取得所有權，按該資產之耐用年限與租賃期間兩者孰短者提列折舊。

2. 營業租賃之給付扣除自出租人收取之任何誘因，於租賃期間內按直線法攤銷認列為當期損益。

(十七)無形資產

1. 商譽係因企業合併採收購法而產生。

2. 客戶關係權係因企業合併採收購法而取得，採直線法攤銷，攤銷年限為 5 年~7 年。

3. 電腦軟體係以取得成本認列，採直線法攤銷，攤銷年限為 5 年。

(十八)非金融資產減損

1. 本集團於資產負債表日針對有減損跡象之資產，估計其可回收金額，當可回收金額低於其帳面價值時，則認列減損損失。可回收金額係指一項資產之公允價值減處分成本或其使用價值，兩者較高者。除商譽外，當以前年度已認列資產減損之情況不存在或減少時，則迴轉減損損失，惟迴轉減損損失而增加之資產帳面金額，不超過該資產若未認列減損損失情況下減除折舊或攤銷後之帳面金額。

2. 商譽、非確定耐用年限無形資產及尚未可供使用無形資產，應定期估計其可回收金額。當可回收金額低於其帳面價值時，則認列減損損失。商譽減損之減損損失於以後年度不予迴轉。

3. 商譽為減損測試之目的，分攤至現金產生單位。此項分攤是依據營運部

門辨認，將商譽分攤至預期可從產生商譽之企業合併而受益之現金產生單位或現金產生單位群組。

(十九)借款

借款於原始認列時按公允價值扣除交易成本後之金額衡量，後續就扣除交易成本後價款與贖回價值之任何差額採有效利息法按攤銷後成本於借款期間內衡量。

(二十)應付帳款及票據

應付帳款及票據係在正常營業過程中自供應商取得商品或勞務而應支付之義務。於原始認列時按公允價值衡量，後續採有效利息法按攤銷後成本衡量。惟屬未付息之短期應付帳款，因折現影響不重大，後續以原始發票金額衡量。

(二十一)透過損益按公允價值衡量之金融負債

1. 透過損益按公允價值衡量之金融負債係指持有供交易之金融負債。分類為持有供交易之金融負債係於取得時之主要目的為短期內再買回，及除依避險會計被指定為避險工具外之衍生工具。
2. 透過損益按公允價值衡量之金融負債，於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本則認列為當期損益。續後按公允價值衡量，其公允價值之變動認列於當期損益。

(二十二)金融負債之除列

本集團於合約所載之義務履行、取消或到期時，除列金融負債。

(二十三)金融負債及權益工具

本集團發行之應付可轉換公司債，嵌入有轉換權(即持有人可選擇轉換為本集團普通股之股利，且為固定金額轉換固定數量之股份)、賣回權及買回權，於初始發行時將發行價格依發行條件區分為金融資產、金融負債或權益(「資本公積－認股權」)，其處理如下：

1. 嵌入本集團發行應付可轉換公司債之賣回權與買回權，於原始認列時以其公允價值之淨額帳列「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」；後續於資產負債表日，按當時之公允價值評價，差額認列「透過損益按公允價值衡量之金融資產(負債)利益或損失」。
2. 應付可轉換公司債之主契約於原始認列時按公允價值衡量，與贖回價值間之差額認列為應付公司債溢折價，列為應付公司債之加項或減項；後續採有效利息法按攤銷後成本於債券流通期間內認列為當期損益，作為「財務成本」之調整項目。

3. 嵌入本集團發行應付可轉換公司債之轉換權係符合權益之定義，於原始認列時，就發行金額扣除上述「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」及「應付公司債淨額」後之剩餘價值帳列「資本公積－認股權」，後續不再重新衡量。

4. 發行應付可轉換公司債之任何直接歸屬之交易成本，按原始帳面金額比例分配至負債和權益之組成部分。

5. 當持有人轉換時，帳列負債組成部分（包括「應付公司債」及「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」）按其分類之後續衡量方法處理，再以前述依負債組成部分之帳面價值加計「資本公積－認股權」之帳面價值作為換出普通股之發行成本。

(二十四)員工福利

1. 短期員工福利

短期員工福利係以預期支付之非折現金額衡量，並於相關服務提供時認列為費用。

2. 退休金

(1)確定提撥計畫

對於確定提撥計畫，係依權責發生基礎將應提撥之退休基金數額認列為當期之退休金成本。預付提撥金於可退還現金或減少未來給付之範圍內認列為資產。

(2)確定福利計劃

A. 確定福利計劃下之淨義務係以員工當期或過去服務所賺得之未來福利金額折現計算，並以資產負債表日之確定福利義務現值減除計畫資產之公允價值。確定福利淨義務每年由精算師採用預計單位福利法計算，折現率則參考資產負債表日與確定福利計畫之貨幣及期間一致之高品質公司債之市場殖利率決定；在高品質公司債無深度市場之國家，係使用政府公債（於資產負債表日）之市場殖利率。

B. 確定福利計畫產生之再衡量數於發生當期認列於其他綜合損益，並表達於保留盈餘。

C. 前期服務成本之相關費用立即認列為損益。

D. 期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算。若該結束日後有重大市場變動及重大縮減、清償或其他重大一次性事項，則加以調整，並配合前述政策揭露相關資訊。

3. 離職福利

離職福利係於正常退休日前終止對員工之聘僱或當員工決定接受公司之福利邀約以換取聘僱之終止而提供之福利。本集團係於不再能撤銷離職福利之要約或於認列相關重組成本之孰早者時認列費用。不預期在資產負債表日後 12 個月全部清償之福利應予以折現。

4. 員工酬勞及董監酬勞

員工酬勞及董監事酬勞係於具法律或推定義務且金額可合理估計時，認列為費用及負債。嗣後決議實際配發金額與估列金額有差異時，則按會計估計變動處理。

(二十五)所得稅

1. 所得稅費用包含當期及遞延所得稅。除與列入其他綜合損益或直接列入權益之項目有關之所得稅分別列入其他綜合損益或直接列入權益外，所得稅係認列於損益。

2. 本集團依據營運及產生應課稅所得之所在國家在資產負債表日已立法或已實質性立法之稅率計算當期所得稅。管理階層就適用所得稅相關法規定期評估所得稅申報之狀況，並在適用情況下根據預期須向稅捐機關支付之稅款估列所得稅負債。未分配盈餘依所得稅法加徵 10%之所得稅，嗣盈餘產生年度之次年度於股東會通過盈餘分派案後，始就實際盈餘之分派情形，認列 10%之未分配盈餘所得稅費用。

3. 遞延所得稅採用資產負債表法，按資產及負債之課稅基礎與其於合併資產負債表之帳面金額所產生之暫時性差異認列。源自於原始認列之商譽所產生之遞延所得稅負債則不予認列，若遞延所得稅源自於交易(不包括企業合併)中對資產或負債之原始認列，且在交易當時未影響會計利潤或課稅所得(課稅損失)，則不予認列。若投資子公司及關聯企業產生之暫時性差異，本集團可以控制暫時性差異迴轉之時點，且暫時性差異很有可能於可預見之未來不會迴轉者則不予認列。遞延所得稅採用在資產負債表日已立法或已實質性立法，並於有關之遞延所得稅資產實現或遞延所得稅負債清償時預期適用之稅率(稅法)為準。

4. 遞延所得稅資產於暫時性差異很有可能用以抵減未來應課稅所得之範圍內認列，並於每一資產負債表日重新評估未認列及已認列之遞延所得稅資產。

5. 當有法定執行權將所認列之當期所得稅資產及負債金額互抵且有意圖以淨額基礎清償或同時實現資產及清償負債時，始將當期所得稅資產及當期所得稅負債互抵；當有法定執行權將當期所得稅資產及

當期所得稅負債互抵，且遞延所得稅資產及負債由同一稅捐機關課徵所得稅之同一納稅主體、或不同納稅主體產生但各主體意圖以淨額基礎清償或同時實現資產及清償負債時，始將遞延所得稅資產及負債互抵。

6. 期中期間之所得稅費用以估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前損益計算之，並配合前述政策揭露相關資訊。

(二十六)股本

1. 普通股分類為權益。直接歸屬於發行新股或認股權之增額成本以扣除所得稅後之淨額於權益中列為價款減項。

2. 本公司買回已發行股票時，將所支付之對價包括任何可直接歸屬之增額成本以稅後淨額認列為股東權益之減項。買回之股票後續再發行時，所收取之對價扣除任何可直接歸屬之增額成本及所得稅影響後與帳面價值之差額認列為股東權益之調整。

(二十七)股利分配

分派予本公司股東之股利於本公司股東會決議分派股利時於財務報告認列，分派現金股利認列為負債，分派股票股利則認列為待分配股票股利，並於發行新股基準日時轉列普通股。

(二十八)收入認列

銷貨收入係正常營業活動中對集團外顧客銷售商品已收或應收對價之公允價值，以扣除營業稅、銷貨退回、數量折扣及折讓之淨額表達。商品銷售於商品交付予買方、銷貨金額能可靠衡量且未來經濟效益很有可能流入企業時認列收入。當與所有權相關之重大風險與報酬已移轉予顧客，本集團對商品既不持續參與管理亦未維持有效控制且顧客根據銷售合約接受商品，或有客觀證據顯示所有接受條款均已符合時，商品交付方屬發生。

(二十九)企業合併

1. 本集團採用收購法進行企業合併。合併對價根據所移轉之資產、所產生或承擔之負債及所發行之權益工具之公允價值計算，所移轉之對價包括或有對價約定所產生之任何資產和負債之公允價值。與收購有關之成本於發生時認列為費用。企業合併中所取得可辨認之資產及所承擔之負債，按收購日之公允價值衡量。本集團以個別收購交易為基準，非控制權益之組成部分屬現時所有權權益且其持有者有權於清算發生時按比例份額享有企業淨資產者，選擇按收購日公允價值或按非控制權益占被收購者可辨認淨資產之比例衡量；非控制權

益之所有其他組成部分則按收購日公允價值衡量。

2. 移轉對價、被收購者非控制權益，及先前已持有被收購者之權益之公允價值總額，若超過所取得可辨認資產及承擔之負債之公允價值，於收購日認列為商譽；所取得可辨認資產及承擔之負債之公允價值，若超過移轉對價、被收購者非控制權益，及先前已持有被收購者之權益之公允價值總額，該差額於收購日認列為當期損益。

3. 財團法人中華民國會計研究發展基金會民國 102 年 1 月 8 日發布 IFRS 問答集「IFRS3 共同控制下企業合併之處理疑義」，說明由於國際財務報導準則第 3 號「企業合併」對於共同控制下之企業合併並無明確規定，故仍適用我國已發布之相關解釋函之規定。

4. 本集團處分子公司，如屬集團內之組織重組，依財團法人中華民國會計研究發展基金會民國 105 年 6 月 1 日發布 IFRS 問答集(2010 年版)，說明處分公司亦應視為共同控制下組織重組處理，故應以集團對子公司採用權益法之投資之帳面價值(評估減損損失後之金額)除列，原子公司之資產及負債帳面價值，其與交易對價之差額，應調整資本公積-股本溢價，如沖減不足時，則調減保留盈餘。

(三十)營運部門

本集團營運部門資訊與提供給主要營運決策者之內部管理報告採一致之方式報導。主要營運決策者負責分配資源予營運部門並評估其績效。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本集團編製本合併財務報告時，管理階層已運用其判斷以決定所採用之會計政策，並依據資產負債表日當時之情況對於未來事件之合理預期以作出會計估計及假設。所作出之重大會計估計與假設可能與實際結果存有差異，將考量歷史經驗及其他因子持續評估及調整。該等估計及假設具有導致資產及負債帳面金額於下個財務年度重大調整之風險。請詳下列對重大會計判斷、估計與假設不確定性之說明：

(一)會計政策採用之重要判斷

無。

(二)重要會計估計及假設

1. 應收帳款減損評估

應收帳款之呆帳準備係依歷史經驗及債務人之財務狀況、違約及破產等已知原因估計可能發生之呆帳金額，且本集團定期檢視估計之合理性。

2.存貨之評價

由於存貨須以成本與淨變現價值孰低者計價,故本集團必須運用判斷及估計決定資產負債表日存貨之淨變現價值。由於科技快速變遷,本集團評估資產負債表日存貨因正常損耗、過時或毀損之情形,及市場銷售價值之金額,採用淨變現價值提列損失。此存貨評價主要係依未來特定期間內之產品需求為估計基礎,故可能產生重大變動。

3.不動產、廠房及設備減損評估

不動產、廠房及設備減損評估過程中,本集團須綜合考量外來資訊及內部資訊以辨認資產價值可能減損之跡象,任何由於經濟狀況之變遷或公司策略所帶來的估計改變,均可能影響減損跡象之辨認及減損損失之金額。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
庫存現金及週轉金	$ 3,997	$ 5,980	$ 4,078
支票存款及活期存款	1,660,055	1,933,329	1,831,013
定期存款(三個月以內)	793,037	531,196	651,077
	$ 2,457,089	$ 2,470,505	$ 2,486,168

1.本集團往來之金融機構信用品質良好,且本集團與多家金融機構往來以分散信用風險,預期發生違約之可能性甚低。

2.本集團未有將現金及約當現金提供質押之情形。

(二)透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動

項目	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
持有供交易之金融資產			
國內上市櫃股票	$ 297,722	$ 216,113	$ 217,044
國外上市股票	3,365	57,213	57,213
國內開放型基金	14,927	15,003	4,000
可轉換公司債-賣回權及買回權	-	-	51
	316,014	288,329	278,308
金融資產評價調整	17,160	11,932	30,409
	$ 333,174	$ 300,261	$ 308,717

本集團持有供交易之金融資產民國106年及105年7月1日至9月30日暨民國106年及105年1月1日至9月30日認列之淨金融資產評價(損)益分

別計($23,040)、($738)、($25,236)及($38,975)。

(三)備供出售金融資產

項目	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
流動：			
上市櫃公司股票	$ 19,710	$ 78,424	$ 60,898
國內基金	-	3,000	3,000
國外基金	136,170	96,750	114,968
	155,880	178,174	178,866
金融資產評價調整	6,876	48,713	46,845
	$ 162,756	$ 226,887	$ 225,711
非流動：			
上市櫃公司股票	$ 142,587	$ 129,170	$ 129,885
興櫃公司股票	82,230	102,030	102,030
國外基金	36,122	22,503	-
	260,939	253,703	231,915
金融資產評價調整	683	8,226	12,824
	$ 261,622	$ 261,929	$ 244,739

本集團民國106年及105年7月1日至9月30日暨民國106年及105年1月1日至9月30日認列於其他綜合(損)益之評價變動金額分別為$1,911、($41,157)、($67,520)及($96,523)。

(四)以成本衡量之金融資產-非流動

項目	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
非上市櫃公司股票	$ 697,413	$ 590,334	$ 589,749
累計減損	(268,000)	(268,000)	(268,000)
	$ 429,413	$ 322,334	$ 321,749

1. 本集團持有之非上市櫃公司股票投資依據投資之意圖應分類為備供出售金融資產，惟因該標的非於活絡市場公開交易，且無法取得足夠之類似公司之產業資訊及被投資公司之相關財務資訊，因此無法合理可靠衡量該些標的之公允價值，因此分類為「以成本衡量之金融資產」。
2. 本集團民國105年度投資宏旭控股股份有限公司1.59%之股權，該公司民國106年9月起於台灣證券交易所掛牌交易。本集團依投資意圖分類為「透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動」。
3. 本集團所持有之非上市櫃公司股權投資民國105年1月1日至9月30日認列之減損損失金額為$133,065。

(五)無活絡市場之債務工具投資-流動

項目	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
定期存款(三個月以上)	$ 2,976	$ 2,889	$ 3,029
利率區間	3.2%	3.2%	3.2%

本集團未有將無活絡市場之債務工具投資提供質押之情形。

(六)應收票據及帳款

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
應收票據	$ 55,571	$ 94,203	$ 68,421
備抵呆帳-應收票據	(3)	(1)	(1)
應收帳款	2,025,584	2,007,823	1,952,087
備抵呆帳-應收帳款	(11,700)	(39,482)	(9,237)
應收帳款-關係人	52,508	92,988	65,108
備抵呆帳-應收帳款-關係人	(377)	(365)	(244)
	$ 2,121,583	$ 2,155,166	$ 2,076,134

1. 本集團未逾期且未減損之應收款項均符合依據交易對手之產業特性、營業規模及獲利狀況所訂定之授信標準。

2. 已逾期之金融資產帳齡分析如下：

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
60天內	$ 95,186	$ 157,939	$ 204,825
61-120天	4,222	2,318	12,185
121天以上	1,461	5,852	2,492
	$ 100,869	$ 166,109	$ 219,502

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

3. 已減損金融資產之變動分析：

(1)民國 106 年 9 月 30 日、105 年 12 月 31 日及 105 年 9 月 30 日止，本集團已全數提列減損之應收票據及帳款金額分別為$1,461、$5,198 及$2,488。

(2)備抵呆帳變動表如下：

	106年1月1日至9月30日
期初餘額	$ 39,848
減損損失迴轉	(26,868)
匯率影響數	(900)
期末餘額	$ 12,080

	105年1月1日至9月30日
期初餘額	$ 13,295
減損損失迴轉	(3,427)
匯率影響數	(386)
期末餘額	$ 9,482

(七)金融資產移轉

本集團與銀行簽訂應收帳款讓售合約，依合約約定本集團無須承擔該些已移轉應收帳款無法回收之信用風險，僅須負擔因商業糾紛所造成之損失，且本集團對於該些已移轉應收帳款並無任何持續參與，因此本集團除列該些讓售之應收帳款。其尚未到期之相關資訊如下：

106年9月30日

讓售對象	讓售應收帳款金額	除列金額	已預支金額	已預支金額利率區間(%)
SMBC Finance Service Co., Ltd.	$ 123,185	$ 123,185	$ 123,185	0.67
三菱東京日聯銀行	102,903	102,903	102,903	1.48
DBL Factoring Corporation	71,700	71,700	71,700	1.35
三井住友信託銀行株式會社	29,042	29,042	29,042	1.48
株式會社常陽銀行	13,950	13,950	13,950	1.48
其他	1,500	1,500	1,500	1.48
	$ 342,280	$ 342,280	$ 342,280	

105年12月31日

讓售對象	讓售應收帳款金額	除列金額	已預支金額	已預支金額利率區間(%)
SMBC Finance Service Co., Ltd.	$ 38,738	$ 38,738	$ 38,738	1.48
三菱東京日聯銀行	27,632	27,632	27,632	1.48
DBL Factoring Corporation	20,312	20,312	20,312	1.35
三井住友信託銀行株式會社	7,111	7,111	7,111	1.48
株式會社常陽銀行	5,881	5,881	5,881	1.48
三菱UFJ信託銀行株式會社	419	419	419	1.48
Global Factoring	248	248	248	0.67
株式會社八十二銀行	186	186	186	1.48
Denso Finance & Accounting Center Co., Ltd.	122	122	122	0.59
	$ 100,649	$ 100,649	$ 100,649	

105年9月30日				
讓售對象	讓售應收帳款金額	除列金額	已預支金額	已預支金額利率區間(%)
SMBC Finance Service Co., Ltd.	$ 51,851	$ 51,851	$ 51,851	0.67
三菱東京日聯銀行	23,304	23,304	23,304	1.48
DBL factoring Corporation	16,198	16,198	16,198	1.35
株式會社常陽銀行	4,151	4,151	4,151	1.48
三井住友信託銀行株式会社	4,120	4,120	4,120	1.48
其他	1,041	1,041	1,041	1.48
	$ 100,665	$ 100,665	$ 100,665	

1. 依讓售合約之約定，因商業糾紛(如銷貨退回或折讓等)而產生之損失由本集團承擔，因信用風險而產生之損失由該等銀行承擔。
2. 本集團依客戶別之應收帳款與金融機構簽訂應收帳款讓售合約，於合約期間，本集團可將該客戶之應收帳款全數或部分讓售予金融機構，並可循環動用；未執行讓售之應收帳款，則依本集團與該客戶之信用條件，金融機構將於收到該客戶之帳款時，將帳款全數轉交予本集團。
3. 本集團未有提供擔保予該等銀行之情形。

(八)存貨

	106年9月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原料	$ 513,585	($ 17,919)	$ 495,666
在製品	365,257	(22,189)	343,068
製成品	331,584	(18,869)	312,715
	$ 1,210,426	($ 58,977)	$ 1,151,449

	105年12月31日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原料	$ 452,040	($ 11,176)	$ 440,864
在製品	359,802	(24,583)	335,219
製成品	325,528	(26,138)	299,390
	$ 1,137,370	($ 61,897)	$ 1,075,473

	105年9月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原料	$ 468,608	($ 22,682)	$ 445,926
在製品	399,063	(11,506)	387,557
製成品	317,217	(21,690)	295,527
	$ 1,184,888	($ 55,878)	$ 1,129,010

本集團當期認列為費損之存貨成本：

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
已出售存貨成本	$ 1,992,935	$ 2,018,525
未分攤固定製造費用	2,314	19,987
存貨跌價損失	2,399	15,076
出售下腳及廢料收入	(13,658)	(12,343)
	$ 1,983,990	$ 2,041,245

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
已出售存貨成本	$ 5,093,805	$ 4,743,054
未分攤固定製造費用	7,900	49,017
存貨跌價損失	10,296	16,372
出售下腳及廢料收入	(31,417)	(17,763)
	$ 5,080,584	$ 4,790,680

(九)其他流動資產

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
本期所得稅資產	$ 4,952	$ 3,135	$ 3,989
其他	4,285	4,870	6,899
	$ 9,237	$ 8,005	$ 10,888

(十)採用權益法之投資

		106年9月30日		105年12月31日	
	主要營業場所	帳列數	持股比例	帳列數	持股比例
能率亞洲資本股份有限公司	台灣	$ 185,598	20.58%	$ 200,803	20.58%
上奇科技股份有限公司	台灣	-	-	109,664	6.26%
佳能企業股份有限公司	台灣	68,269	1.47%	67,384	1.46%
橘焱國際事業股份有限公司	台灣	57,515	14.34%	51,267	13.89%
精能光學股份有限公司	台灣	26,827	15.15%	29,727	15.15%
健策精密工業股份有限公司	台灣	26,215	0.59%	26,358	0.59%
ABICO R&D Co., Ltd.	日本	4,142	15.00%	4,547	28.00%
Shine Trade International Ltd.	英屬維京群島	15,426	48.72%	-	-
		$ 383,992		$ 489,750	

	主要營業場所	105年9月30日 帳列數	105年9月30日 持股比例
能率亞洲資本股份有限公司	台灣	$ 201,807	20.58%
上奇科技股份有限公司	台灣	108,041	6.26%
佳能企業股份有限公司	台灣	71,799	1.46%
橘焱國際事業股份有限公司	台灣	51,175	13.89%
精能光學股份有限公司	台灣	29,994	15.15%
健策精密工業股份有限公司	台灣	25,963	0.59%
ABICO R&D Co., Ltd.	日本	6,807	28.00%
		$ 495,586	

1.本集團重大關聯企業之彙總性財務資訊如下：

資產負債表	能率亞洲		
	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
流動資產	$ 162,532	$ 484,938	$ 641,927
非流動資產	738,347	491,546	340,289
流動負債	-	-	(1,668)
非流動負債	(1,409)	(1,409)	(480)
淨資產總額	$ 899,470	$ 975,075	$ 980,068
占關聯企業淨資產之份額	$ 185,598	$ 200,803	$ 201,807
關聯企業帳面價值	$ 185,598	$ 200,803	$ 201,807

綜合損益表	能率亞洲	
	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
收入	$ -	$ -
本期淨損	($ 9,533)	($ 6,100)
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(14,725)	(1,143)
本期綜合(損)益總額	($ 24,258)	($ 7,243)

	能率亞洲	
	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
收入	$ -	$ -
本期淨損	($ 28,930)	($ 13,576)
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(46,675)	5,127
本期綜合(損)益總額	($ 75,605)	($ 8,449)

資產負債表	上奇科技	
	105年12月31日	105年9月30日
流動資產	$ 2,174,590	$ 2,214,212
非流動資產	933,893	913,124
流動負債	(1,538,997)	(1,605,102)
非流動負債	(51,704)	(56,850)
淨資產總額	$ 1,517,782	$ 1,465,384
占關聯企業淨資產之份額	$ 71,454	$ 69,943
商譽	38,210	38,098
關聯企業帳面價值	$ 109,664	$ 108,041

綜合損益表	上奇科技	
	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
收入	$ 1,175,603	$ 1,417,888
本期淨利	$ 65,905	$ 49,071
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(17,021)	(11,401)
本期綜合(損)益總額	$ 48,884	$ 37,670

	上奇科技	
	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
收入	$ 3,169,270	$ 3,863,499
本期淨利	$ 128,127	$ 151,661
其他綜合(損)益(稅後淨額)	(57,048)	(20,532)
本期綜合(損)益總額	$ 71,079	$ 131,129

2. 本集團個別不重大關聯企業之帳面金額及其經營結果之份額彙總如下：

民國106年9月30日、105年12月31日及105年9月30日，本集團個別不重大關聯企業之帳面金額合計分別為$198,394、$179,283 及$185,738。

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
本期淨(損)利	$ 227,702	$ 263,406
其他綜合(損)益(稅後淨額)	80,203	(256,131)
本期綜合(損)益總額	$ 307,905	$ 7,275

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
本期淨(損)利	$ 409,686	$ 420,254
其他綜合(損)益(稅後淨額)	74,257	(257,035)
本期綜合(損)益總額	$ 483,943	$ 163,219

3. 本集團採用權益法認列之關聯企業(損)益，除投資個體-上奇科技、佳能企業、精能光學、健策精密及 Shine Trade 係依經會計師核閱之財務報表評價外，餘係依同期間未經會計師核閱之財務報表評價而得。投資(損)益明細如下：

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
能率亞洲	($ 1,917)	($ 1,226)
上奇科技	315	2,616
佳能企業	1,930	674
橘焱國際	(659)	490
精能光學	(696)	(1,257)
健策精密	644	261
Shine Trade	(6,612)	-
	($ 6,995)	$ 1,558

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
能率亞洲	($ 5,818)	($ 2,730)
上奇科技	3,653	2,616
佳能企業	3,189	674
橘焱國際	(26)	1,175
精能光學	(2,899)	(5,931)
健策精密	1,195	388
ABICO R&D	2,127	218
Shine Trade	(15,110)	-
	($ 13,689)	($ 3,590)

4. 本集團民國 106 年 8 月辭任上奇科技之董事席次，因而對該投資個體喪失重大影響力，自當日起停止採用權益法評價。剩餘持股已按公允價值重新衡量及分類為「透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動」，並認列重衡量利益＄30,637(帳列「處分投資利益」)。

5. 本集團民國 106 年第一季將原持有 Shine Trade 100%之股權出售 51.28%之持股予關係人-禮興塑膠(香港)有限公司，出售後持股比由 100%降為 48.72%。關係人交易請詳附註七之說明。

(十一)不動產、廠房及設備

	土地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃資產	其他	合計
106年1月1日								
成本	$477,809	$1,232,244	$4,241,633	$ 33,348	$183,017	$124,347	$1,044,815	$7,337,213
累計折舊	-	(886,460)	(2,095,769)	(24,731)	(115,134)	(64,867)	(712,090)	(3,899,051)
	$477,809	$ 345,784	$2,145,864	$ 8,617	$ 67,883	$ 59,480	$ 332,725	$3,438,162
106年1月1日至9月30日								
期初餘額	$477,809	$ 345,784	$2,145,864	$ 8,617	$ 67,883	$ 59,480	$ 332,725	$3,438,162
增添	-	1,243	123,420	3,849	4,976	508	106,239	240,235
重分類	-	7,963	75,659	900	(33,337)	-	13,034	64,219
處分報廢	-	-	(17,231)	(396)	(37)	(1)	(115)	(17,780)
處分子公司	-	-	(43,074)	(145)	-	-	(4,160)	(47,379)
折舊費用	-	(17,400)	(286,420)	(2,589)	(6,551)	(11,361)	(109,299)	(433,620)
淨兌換差額	(9,190)	(9,050)	(34,180)	(87)	(1,795)	(1,174)	(3,236)	(58,712)
期末餘額	$468,619	$ 328,540	$1,964,038	$ 10,149	$ 31,139	$ 47,452	$ 335,188	$3,185,125
106年9月30日								
成本	$468,619	$1,212,852	$3,987,209	$ 33,819	$117,239	$118,641	$1,040,265	$6,978,644
累計折舊	-	(884,312)	(2,023,171)	(23,670)	(86,100)	(71,189)	(705,077)	(3,793,519)
	$468,619	$ 328,540	$1,964,038	$ 10,149	$ 31,139	$ 47,452	$ 335,188	$3,185,125

	土地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃資產	其他	合計
105年1月1日								
成本	$468,075	$1,126,967	$3,686,748	$ 36,487	$157,282	$ 92,606	$1,150,640	$6,718,805
累計折舊	-	(862,985)	(1,828,473)	(26,143)	(102,460)	(52,097)	(655,367)	(3,527,525)
	$468,075	$ 263,982	$1,858,275	$ 10,344	$ 54,822	$ 40,509	$ 495,273	$3,191,280
105年1月1日至9月30日								
期初餘額	$468,075	$ 263,982	$1,858,275	$ 10,344	$ 54,822	$ 40,509	$ 495,273	$3,191,280
增添	-	1,170	245,363	3,120	27,383	30,734	542,197	849,967
重分類	-	126,055	443,427	-	-	-	(569,482)	-
處分報廢	-	-	(7,496)	(219)	(52)	-	(1,161)	(8,928)
折舊費用	-	(14,035)	(277,169)	(2,912)	(14,663)	(14,107)	(93,640)	(416,526)
淨兌換差額	61,199	(15,696)	(106,294)	(595)	(2,892)	3,282	(817)	(61,813)
期末餘額	$529,274	$ 361,476	$2,156,106	$ 9,738	$ 64,598	$ 60,418	$ 372,370	$3,553,980
105年9月30日								
成本	$529,274	$1,342,906	$4,182,737	$ 36,118	$176,111	$127,878	$1,107,902	$7,502,926
累計折舊	-	(981,430)	(2,026,631)	(26,380)	(111,513)	(67,460)	(735,532)	(3,948,946)
	$529,274	$ 361,476	$2,156,106	$ 9,738	$ 64,598	$ 60,418	$ 372,370	$3,553,980

1.本集團選擇以土地重估價值作為 IFRS 轉換日之認定成本，民國 106 年 9 月 30 日、105 年 12 月 31 日及 105 年 9 月 30 日土地成本中包括之重估增值均為$46,667。

2.以不動產、廠房及設備提供擔保之資訊，請詳附註八之說明。

(十二)無形資產

	商譽	客戶關係權	電腦軟體	合計
106年1月1日				
成本	$ 65,818	$ 87,013	$ 15,492	$ 168,323
累計攤銷	-	(21,753)	(6,865)	(28,618)
	$ 65,818	$ 65,260	$ 8,627	$ 139,705
106年1月1日至9月30日				
期初餘額	$ 65,818	$ 65,260	$ 8,627	$ 139,705
本期購置	-	-	3,163	3,163
攤銷費用	-	(9,230)	(3,135)	(12,365)
處分子公司	-	-	(73)	(73)
淨兌換差額	-	(1,412)	(132)	(1,544)
期末餘額	$ 65,818	$ 54,618	$ 8,450	$ 128,886
106年9月30日				
成本	$ 65,818	$ 84,961	$ 18,728	$ 169,507
累計攤銷	-	(30,343)	(10,278)	(40,621)
	$ 65,818	$ 54,618	$ 8,450	$ 128,886

	商譽	客戶關係權	電腦軟體	合計
105年1月1日				
成本	$ 65,818	$ 116,530	$ 11,079	$ 193,427
累計攤銷	-	(37,978)	(3,389)	(41,367)
	$ 65,818	$ 78,552	$ 7,690	$ 152,060
105年1月1日至9月30日				
期初餘額	$ 65,818	$ 78,552	$ 7,690	$ 152,060
本期購置	-	-	5,344	5,344
攤銷費用	-	(15,266)	(2,866)	(18,132)
淨兌換差額	-	13,838	(174)	13,664
期末餘額	$ 65,818	$ 77,124	$ 9,994	$ 152,936
105年9月30日				
成本	$ 65,818	$ 98,158	$ 16,023	$ 179,999
累計攤銷	-	(21,034)	(6,029)	(27,063)
	$ 65,818	$ 77,124	$ 9,994	$ 152,936

1.商譽分攤至按營運部門辨認之本集團現金產生單位：

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
捷邦國際	$ 34,197	$ 34,197	$ 34,197
應華工業	31,621	31,621	31,621
	$ 65,818	$ 65,818	$ 65,818

2.本集團民國104年3月31日持有DaiichiKasei Holdings 75%之股權，因而產生客戶關係權$82,214，攤銷年限為7年。截至民國106年9月30日尚未攤銷餘額$54,618。

(十三)其他非流動資產

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
預付長期租金-土地使用權	$ 79,847	$ 84,493	$ 84,348
預付設備款	55,001	45,123	71,315
存出保證金	17,349	18,822	18,463
	$ 152,197	$ 148,438	$ 174,126

1. 土地使用權係本集團之孫公司-群勝蘇州及IKKA Vietnam分別於大陸蘇州相城區及越南海陽興建廠房所支付之土地使用權利金，依直線法按合約期間50年攤銷。

2.民國106年及105年7月1日至9月30日暨民國106年及105年1月1日至9月30日因上述土地使用權認列之租金費用分別為$283、$505、$1,249及$1,557。

(十四)短期借款

借款性質	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
銀行借款			
信用借款	$ 927,788	$ 928,263	$ 1,149,003
利率區間	0.65%~4.79%	0.76%~3.90%	0.76%~2.94%

(十五)應付短期票券

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
應付短期票券	$ 100,000	$ 100,000	$ 110,000
減：應付短期票券折價	(114)	(116)	(129)
	$ 99,886	$ 99,884	$ 109,871
利率區間	1.16%	1.18%~1.20%	1.12%~1.23%

(十六)透過損益按公允價值衡量之金融負債

項目	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
持有供交易之金融負債			
可轉換公司債-賣回權及買回權	$ 1,510	$ 7,803	$ 2,517

本集團持有供交易之金融負債民國106年及105年7月1日至9月30日暨民國106年及105年1月1日至9月30日認列之淨金融負債(損)益分別計$378、$233、$6,293及$2,805。

(十七)其他應付款

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
應付包裝費、進口報關費及加工廠費用	$ 319,772	$ 314,667	$ 399,981
應付薪資及年獎	202,549	210,584	207,290
應付員工及董監酬勞	54,913	38,627	44,591
應付設備款	21,979	72,935	41,167
應付水電費	19,664	19,451	24,970
應付運費	18,223	16,942	16,870
應付勞務費	13,225	13,768	10,568
應付營業稅	12,924	10,444	10,289
應付保險費	8,737	10,513	1,666
應付退休金	5,959	7,446	4,462
應付投資款	-	17,525	-
應付租金	7,051	-	5,559
其他	105,544	106,395	130,499
	$ 790,540	$ 839,297	$ 897,912

(十八)其他流動負債

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
一年內到期長期借款	$ 152,798	$ 157,174	$ 159,595
一年內到期應付公司債	85,022	83,617	-
預收貨款	66,292	68,706	71,392
應付租賃款	19,592	24,948	28,783
其他	15,660	18,417	18,099
	$ 339,364	$ 352,862	$ 277,869

(十九)應付公司債

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
應付公司債	$ 1,343,900	$ 1,343,900	$ 1,343,900
減：應付公司債折價	(67,486)	(84,716)	(90,475)
	1,276,414	1,259,184	1,253,425
減:一年內執行賣回權公司債	(85,022)	(83,617)	-
	$ 1,191,392	$ 1,175,567	$ 1,253,425

1.本公司國內第四次無擔保可轉換公司債：

(1)本公司經主管機關核准募集及發行國內第四次無擔保轉換公司債，發行總額$1,500,000，票面利率 0%，發行期間 5 年，流通期間自民國 104 年 10 月 28 日至 109 年 10 月 28 日。自發行日後滿一個月之翌日起至到期日前十日止，可轉換為本公司普通股。本轉換公司債民國 104 年 10 月 28 日於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

(2)本轉換公司債券持有人自本債券發行日後滿一個月翌日起至到期日前十日止，除依辦法或法令規定須暫停過戶期間外，得隨時向本公司請求轉換為本公司普通股，轉換後普通股之權利義務與原已發行之普通股相同。

(3)債券持有人得於本轉換公司債發行滿三年(民國 107 年 10 月 28 日)之賣回基準日，要求本公司以債券面額將其所持有之轉換公司債買回。

(4)當本轉換公司債發行滿一個月之翌日起至發行期間屆滿前四十日(民國 109 年 9 月 18 日)止，本公司普通股收盤價連續三十個營業日超過當時轉換價格 30%時，或本轉換公司債發行滿一個月之翌日起至發行期間屆滿前四十日止，本轉換公司債流通在外餘額低於原發行總額之 10%時，本公司得於其後任何時間按債券面額以現金收

回其全部債券。

(5)依轉換辦法規定，所有本公司收回(包括由櫃檯買賣中心買回)、償還或已轉換之本轉換公司債將註銷，且所有尚隨附於公司債之權利義務亦將併同消滅，不再發行。

(6)本轉換公司債於發行當時訂為每股新台幣 54.2 元，自民國 106 年 8 月 22 日起調整為每股新台幣 50.4 元。

(7)截至民國 106 年 9 月 30 日止，本轉換公司債面額$170,400 已轉換為普通股 3,203 仟股。

(8)本公司於發行可轉換公司債時，依據國際會計準則第 32 號規定，將屬權益性質之轉換權與各負債組成要素分離，帳列「資本公積－認股權」$119,250。另嵌入之買回權與賣回權，依據國際會計準則第 39 號規定，因其與主契約債務商品之經濟特性及風險非緊密關聯，故予以分離處理，並以其淨額帳列「透過損益按公允價值衡量之金融負債」。經分離後主契約債務之有效利率為 1.7154%。

(9)載至民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日止自櫃檯買賣中心買回本轉換公司債面額為$71,000，支付之買回價款為$70,400。本公司因此調整「透過損益按公允價值衡量之金融負債」$263 及「資本公積－認股權」$5,645，並認列債券贖回利益$954。

(10)本轉換公司債之變動如下：

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
期初餘額	$ 1,175,567	$ 1,377,026
以有效利率1.7154%計息	15,825	17,443
贖回公司債	－	(224,193)
期末餘額	$ 1,191,392	$ 1,170,276

2.捷邦國際國內第一次無擔保可轉換公司債：

(1)捷邦國際民國 101 年 12 月 14 日發行 5 年期零票面利率之無擔保可轉換公司債$500,000，其用途係用於償還銀行借款、商業本票及購置機器設備。

(2)債權人得於民國 102 年 1 月 15 日至 106 年 12 月 4 日(除暫停過戶期間外)，得隨時依轉換價格向捷邦國際請求將所持有之債券轉換為捷邦國際之普通股股票，或於發行滿 3 年之日(民國 104 年 12 月 14 日)，要求捷邦國際以債券面額買回。

(3)自發行滿一個月翌日(民國 102 年 1 月 15 日)起至發行期間屆滿前四十日(民國 106 年 11 月 4 日)止，遇有捷邦國際普通股股票在證券櫃檯買賣市場之收盤價格連續三十個營業日超過當時轉換價格之 30%(含)以上，捷邦國際亦得按約定公式計算之價格將剩餘流通在外

之債券全部贖回，其尚未轉換之債券總金額低於原發行總額之 10%時，捷邦國際於債券到期日應按債券面額將剩餘流通在外之債券全部贖回，轉換價格於發行當時訂為每股新台幣 32.93 元，自民國 105 年 10 月 20 日起調整為新台幣 27.16 元。

(4)截至民國 106 年 9 月 30 日止，本轉換公司債面額$293,235 已轉換為普通股 9,857 仟股。

(5)捷邦國際於發行可轉換公司債時，依據國際會計準則第 32 號規定，將屬權益性質之轉換權與各負債組成要素分離，帳列「資本公積－認股權」$44,779。另嵌入之買回權與賣回權，依據國際會計準則第 39 號規定，因其與主契約債務商品之經濟特性及風險非緊密關聯，故予以分離處理，並以其淨額帳列「透過損益按公允價值衡量之金融負債」。經分離後主契約債務之有效利率為 2.23%。

(6)本轉換公司債之變動如下：

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
期初餘額	$ 83,617	$ 81,770
以有效利率2.23%計息	1,405	1,379
期末餘額	$ 85,022	$ 83,149

(二十)長期借款

借款性質	借款期間及還款方式	利率區間	106年9月30日
擔保借款	102.4.24~107.4.30	0.50%~3.38%	$ 129,644
無擔保借款	100.5.24~111.5.12	0.65%~4.09%	285,031
			414,675
減：一年內到期之長期借款			(152,798)
			$ 261,877

借款性質	借款期間及還款方式	利率區間	105年12月31日
擔保借款	102.4.24~107.4.30	1.30%	$ 15,621
無擔保借款	100.5.24~110.7.20	0.50%~4.09%	340,515
			356,136
減：一年內到期之長期借款			(157,174)
			$ 198,962

借款性質	借款期間及還款方式	利率區間	105年9月30日
擔保借款	102.4.24~107.4.30	1.30%	$ 19,695
無擔保借款	100.5.24~110.7.20	0.50%~4.09%	386,504
			406,199
減：一年內到期之長期借款			(159,595)
			$ 246,604

上述長期借款之擔保品，請詳附註八。

(二十一)其他非流動負債

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
應計退休金負債	$ 268,580	$ 274,974	$ 299,027
應付租賃款	27,172	35,734	45,508
存入保證金	2,389	2,374	1,820
	$ 298,141	$ 313,082	$ 346,355

(二十二)應付租賃款

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
最低租賃給付總額			
不超過1年	$ 20,021	$ 25,714	$ 29,740
超過1年但不超過5年	27,471	36,269	46,232
	47,492	61,983	75,972
減：未來財務費用	(728)	(1,301)	(1,681)
最低租賃給付現值	$ 46,764	$ 60,682	$ 74,291
最低租賃給付現值			
不超過1年	$ 19,592	$ 24,948	$ 28,783
超過1年但不超過5年	27,172	35,734	45,508
	$ 46,764	$ 60,682	$ 74,291

1. 本集團以融資租賃承租機器及其他設備，依據租賃契約之條款，本集團於契約到期時得選擇以當時之名目金額購買該設備。
2. 所有融資租賃義務之利率於合約開始日即已固定，民國 106 年 9 月 30 日、105 年 12 月 31 日及 105 年 9 月 30 日之年利率區間分別為 0.37%~4.06%、0.51%~4.26%及 0.51%~4.06%。

(二十三)退休金

1.(1)本公司之子公司-捷邦國際及應華工業依據「勞動基準法」之規定，訂有確定福利之退休辦法，適用於民國 94 年 7 月 1 日實施「勞工退休金條例」前所有正式員工之服務年資，以及於實施「勞工退休金條例」後選擇繼續適用勞動基準法員工之後續服務年資。員工符合退休條件者，退休金之支付係根據服務年資及退休前 6 個月之平均薪資計算，15 年以內(含)的服務年資每滿一年給予兩個基數，超過 15 年之服務年資每滿一年給予一個基數，惟累積最高以 45 個基數為限。本集團按月就薪資總額一定比率提撥退休基金，以勞工退休準備金監督委員會之名義專戶儲存於台灣銀行。另本集團於每年年度終了前，估算前項勞工退休準備金專戶餘額，若該餘額不足給付次一年度內預估符合退休條件之勞工依前述計算之退休金數額，本集團將於次年度三月底前一次提撥其差額。

(2)本公司之孫公司-DaiichKasei 依據日本相關法令訂有確定福利之退休辦法，並按月就薪資總額一定比率提撥退休基金。

(3)民國 106 年及 105 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本集團依上開退休金辦法認列之退休金成本分別為$7,558、$4,407、$22,088 及$12,815。

(4)本集團民國 107 年度預計支付予退休計畫之提撥金為$731。

2.(1)自民國 94 年 7 月 1 日起，本公司及國內子公司依據「勞工退休金條例」，訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本公司及國內子公司就員工選擇適用「勞工退休金條例」所定之勞工退休金制度部分，每月按薪資之 6%提繳勞工退休金至勞保局員工個人帳戶，員工退休金之支付依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休金或一次退休金方式領取。

(2)本集團之大陸子公司按中華人民共和國政府規定之養老保險制度每月依當地員工薪資總額之一定比率提撥養老保險金。每位員工之退休金由政府管理統籌安排，本集團除按月提撥外，無進一步義務。

(3)本集團除上述地區以外之各子公司依其所在國家之法令提撥退休金。

(4)民國 106 年及 105 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本集團依上開退休金辦法認列之退休金成本分別為$13,908、$10,338、$40,139 及$32,100。

(二十四)股本

1. 截至民國106年9月30日止，本公司額定股本為新台幣1,500,000仟元(含員工認股權、附認股權特別股及附認股權應付公司債$100,000)，實收資本額為新台幣1,085,597仟元，每股面額新台幣10元，分為108,559仟股。

2. 本公司民國106年6月13日經股東會決議以股票股利$57,732辦理盈餘轉增資，每股面額新台幣10元，共計發行5,773仟股，該增資案業經辦理變更登記完成。

3. 庫藏股

(1)變動情形如下：

單位：仟股

	106年1月1日至9月30日			
收回原因	期初金額	本期增加	本期減少	期末金額
子公司持有				
-股數	785	44	-	829
-金額	$ 5,714	$ -	$ -	$ 5,714

	105年1月1日至9月30日			
收回原因	期初金額	本期增加	本期減少	期末金額
子公司持有				
-股數	785	-	-	785
-金額	$ 5,714	$ -	$ -	$ 5,714

(2)本公司之子公司應華工業民國93年10月15日取得本公司私募股票。本公司民國94年度間投資應華工業成為本公司之子公司，致應華工業原持有本公司股票者視同本公司之庫藏股。

(二十五)資本公積

1. 依公司法規定，超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與之所得之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，按股東原有股份之比例發給新股或現金。另依證券交易法之相關規定，以上開資本公積撥充資本時，每年以其合計數不超過實收資本額百分之十為限。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。

2.資本公積變動表

	發行溢價	庫藏股票交易	認列對子公司所有權益變動數	採用權益法認列對關聯企業股權淨值之變動數	認股權	總計
106年1月1日	$ 1,087,288	$348,865	$ 37,879	$ 2,339	$100,058	$1,576,429
發放現金股利	(38,640)	-	-	-	-	(38,640)
組織重組影響數	(9,082)	-	-	-	-	(9,082)
子公司權益變動數	-	344	-	-	-	344
關聯企業權益變動數	-	-	-	27	-	27
106年9月30日	$ 1,039,566	$349,209	$ 37,879	$ 2,366	$100,058	$1,529,078

	發行溢價	庫藏股票交易	認列對子公司所有權益變動數	採用權益法認列對關聯企業股權淨值之變動數	認股權	總計
105年1月1日	$ 947,060	$348,079	$ 38,138	$ 690	$119,250	$1,453,217
買回可轉換公司債	-	-	-	-	(5,645)	(5,645)
可轉換公司債轉換	140,228	-	-	-	(13,547)	126,681
子公司權益變動數	-	786	(259)	-	-	527
關聯企業權益變動數	-	-	-	1,649	-	1,649
105年9月30日	$ 1,087,288	$348,865	$ 37,879	$ 2,339	$100,058	$1,576,429

3.資本公積-庫藏股交易明細如下：

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
子公司出售母公司股票之累積處分利益	$ 315,408	$ 315,408	$ 315,408
母公司發放予子公司之股利	35,248	34,904	34,904
買回可轉換公司債	(1,447)	(1,447)	(1,447)
	$ 349,209	$ 348,865	$ 348,865

(二十六)保留盈餘

1.依本公司章程規定，年度決算後如有盈餘，除依法提繳所得稅外，應先彌補以往年度虧損，次就其餘額提撥10%之法定盈餘公積，但法定盈餘公積已達資本總額時，不在此限。次依法令或主管機關規定提列或迴轉特別盈餘公積，如尚有盈餘再加計前期累積未分配盈餘，由董事會視營運需要酌情保留適當盈餘後，擬具股東紅利分配議案，提請

股東會決議。

2. 本公司股利政策之執行方式，需考量公司營運規畫、未來資本支出預算及資金需求情形，與滿足股東對現金流入之需求，暨確保市場競爭力等相關因素，其中現金股利應不低於股東紅利總額之 10%。

3. 法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額 25%之部分為限。

4. 本公司分派盈餘時，依法令規定須就當年度資產負債表日之其他權益項目借方餘額提列特別盈餘公積始得分派，俟後其他權益項目借方餘額迴轉時，迴轉金額得列入可供分派盈餘中。

5. 本公司民國 105 年 6 月 21 日經股東會決議對民國 104 年度之盈餘分派為現金股利$99,583(每股新台幣 1 元)。

   本公司民國 106 年 6 月 13 日經股東會決議對民國 105 年度之盈餘分派為現金股利$6,415(每股新台幣 0.06 元)及股票股利$57,732(每股新台幣 0.56 元)。另以資本公積配發現金股利$38,640(每股新台幣 0.38 元)。

6. 上述有關董事會通過及股東會決議盈餘分派相關資訊，可至公開資訊觀測站查詢。

7. 有關員工及董監酬勞資訊，請詳附註六(三十一)。

(二十七)非控制權益

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
期初餘額	$ 1,601,376	$ 1,688,807
本期淨利(損)	30,730	(17,949)
其他綜合(損)益		
國外營運機構財務報表換算兌換差額	(27,623)	(42,943)
備供出售金融資產未實現評價損益	(31,523)	5,408
與其他綜合(損)益相關之所得稅	8,243	7,533
子公司發放現金股利予非控制權益	(34,118)	(78,737)
取得子公司股權	(103,722)	-
處分子公司	(10,637)	-
期末餘額	$ 1,432,726	$ 1,562,119

(二十八)其他收入

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
利息收入	$ 4,935	$ 2,896
租金收入	1,806	2,050
股利收入	19,521	12,162
壞帳回轉利益	2,147	(5)
	$ 28,409	$ 17,103

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
利息收入	$ 13,692	$ 9,569
租金收入	5,423	5,940
股利收入	19,521	16,235
壞帳回轉利益	26,868	3,427
	$ 65,504	$ 35,171

(二十九)其他利益及損失

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
透過損益按公允價值衡量之金融資產淨損失	($ 23,040)	($ 738)
透過損益按公允價值衡量之金融負債淨利益	378	233
淨外幣兌換損失	(14,453)	(7,719)
處分投資利益	39,859	34,542
處分不動產、廠房及設備淨損失	(1,736)	(1,225)
減損損失	-	(124,065)
其他利益(損失)	11,368	7,175
	$ 12,376	($ 91,797)

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
透過損益按公允價值衡量之金融資產淨損失	($ 25,236)	($ 38,975)
透過損益按公允價值衡量之金融負債淨利益	6,293	2,805
淨外幣兌換損失	(54,540)	(50,164)
處分投資利益	102,644	164,580
處分不動產、廠房及設備淨利益(損失)	976	(2,636)
減損損失	-	(133,065)
可轉換公司債贖回利益	-	954
其他利益(損失)	15,914	32,059
	$ 46,051	($ 24,442)

(三十)財務成本

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
利息費用		
可轉換公司債折價攤銷	$ 5,830	$ 6,167
銀行借款及其他	7,802	10,800
	$ 13,632	$ 16,967

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
利息費用		
可轉換公司債折價攤銷	$ 17,230	$ 18,822
銀行借款及其他	20,859	27,328
	$ 38,089	$ 46,150

(三十一)員工福利、折舊及攤銷費用

功能別 / 性質別	106年7月1日至9月30日			105年7月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	$ 317,788	$ 87,538	$ 405,326	$ 323,058	$ 84,054	$ 407,112
勞健保費用	14,118	8,064	22,182	18,547	9,047	27,594
退休金費用	13,089	8,378	21,467	7,611	7,134	14,745
其他用人費用	15,284	4,471	19,755	13,791	3,428	17,219
折舊費用	133,113	7,656	140,769	144,799	7,756	152,555
攤銷費用	79	4,190	4,269	3,546	2,634	6,180

功能別 性質別	106年1月1日至9月30日			105年1月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	$ 836,713	$233,137	$1,069,850	$ 806,643	$257,940	$1,064,583
勞健保費用	43,950	27,139	71,089	52,672	31,619	84,291
退休金費用	37,282	24,946	62,228	23,640	21,275	44,915
其他用人費用	38,326	11,849	50,175	34,173	11,462	45,635
折舊費用	411,471	22,149	433,620	394,141	22,385	416,526
攤銷費用	236	12,129	12,365	10,343	7,789	18,132

註：勞健保費用係包含大陸子公司之醫療保險及工傷險等支出。

1. 依本公司章程規定，本公司依當年度獲利狀況扣除累積虧損後，如尚有餘額，應提撥員工酬勞不低於 8%且不高於 12%，董事酬勞不高於 1.5%。民國 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日係依截至當期止之獲利情況，分別以 8%及 1.5%估列。

2. 本公司民國 106 年及 105 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日員工酬勞估列金額分別為$9,196、$1,931、$14,673 及$12,526；董監酬勞估列金額分別為$1,724、$290、$2,751 及$1,879，前述金額帳列薪資費用科目。

   民國 106 年 3 月 22 日經董事會決議之民國 105 年度員工酬勞$7,586 及董監酬勞$1,138，與民國 105 年度財務報告認列之金額一致。

3. 本公司董事會通過及股東會決議之員工及董監酬勞相關資訊可至公開資訊觀測站查詢。

(三十二)所得稅

1.所得稅利益(費用)

(1)所得稅利益(費用)組成部分：

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	($ 16,911)	($ 21,541)
以前年度所得稅高(低)估數	(2)	(1,113)
未分配盈餘加徵	–	(3,048)
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	8,194	9,797
所得稅利益(費用)	($ 8,719)	($ 15,905)

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	($ 28,173)	($ 22,828)
以前年度所得稅高(低)估數	(535)	(1,769)
未分配盈餘加徵	–	(3,048)
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	16,367	(3,323)
所得稅利益(費用)	($ 12,341)	($ 30,968)

(2)與其他綜合(損)益相關之所得稅金額：

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
國外營運機構換算差額	($ 1,804)	$ 5,935
備供出售金融資產公允價值變動	(671)	1,590
	($ 2,475)	$ 7,525

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
國外營運機構換算差額	$ 3,321	$ 8,623
備供出售金融資產公允價值變動	3,038	8,114
	$ 6,359	$ 16,737

2. 本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至民國 104 年度。(民國 103 年度尚未核定)

3. 本公司未分配盈餘皆屬於民國 87 年度以後所產生。

4. 截至民國 106 年 9 月 30 日、105 年 12 月 31 日及 105 年 9 月 30 日止，本公司股東可扣抵稅額帳戶餘額分別為$280,013、$287,513 及$309,605。民國 104 年度盈餘分配之稅額扣抵比率為 25.14%；民國 105 年度盈餘分配之預計稅額扣抵比率為 24.93%。

(三十三)每股盈餘

	106年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 109,645	107,730	$ 1.02
稀釋每股盈餘			
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
可轉換公司債	5,378	24,972	
員工酬勞	-	187	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 115,023	132,889	$ 0.87

	105年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 18,206	99,998	$ 0.18
稀釋每股盈餘			
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	42	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 18,206	100,040	$ 0.18

	106年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 191,839	107,730	$ 1.78
稀釋每股盈餘			
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
可轉換公司債	16,553	24,972	
員工酬勞	-	298	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 208,392	133,000	$ 1.57

	105年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 121,579	99,201	$ 1.23
稀釋每股盈餘			
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
可轉換公司債	16,930	23,658	
員工酬勞	-	270	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 138,509	123,129	$ 1.12

1. 應付可轉換公司債屬潛在普通股，民國105年7月1日至9月30日具反稀釋作用，於計算稀釋每股盈餘時，不列入計算。

2. 因員工酬勞可選擇採用發放股票之方式，於計算每股盈餘時，係假設員工酬勞將採發放股票方式，於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。

(三十四)營業租賃

本集團以營業租賃承租土地及房屋建築，因不可取消合約之未來最低租賃給付總額如下：

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
不超過1年	$ 44,834	$ 76,937	$ 61,101
超過1年但不超過5年	207,308	141,823	164,407
超過5年	155,285	169,701	190,924
	$ 407,427	$ 388,461	$ 416,432

(三十五)與非控制權益之交易

1. 本公司之子公司-捷邦國際民國 106 年 5 月 15 日以現金$103,884 向關係人-能率豐聲購入 DaiichiKasei 額外 15%股權，致本集團對 DaiichiKasei 之持股比例由 75%上升至 90%。民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日捷邦國際權益之變動對歸屬於母公司業主權益之影響如下：

	106年1月1日至9月30日
購入非控制權益之帳面金額	$ 103,722
支付予非控制權益之對價	(103,884)
	(162)
減：子公司對孫公司權益影響數	(128)
實際取得或處分子公司股權價格與帳面價值差額（帳上調整未分配盈餘）	($ 34)

2. 本公司之子公司-捷邦國際民國 105 年 8 月取得孫公司-捷邦精密 4%之股權，致持股比例由 96%上升至 100%，民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日捷邦國際權益之變動對歸屬於母公司業主權益之影響金額為（$259)，帳上調整「資本公積-認列對子公司所有權益變動數」。

(三十六)現金流量補充資訊

1.僅有部分現金收取(支付)之投資活動：

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
取得備供出售金融資產	$ 185,201	$ 126,948
加：期初應付投資款	17,525	-
本期支付現金	$ 202,726	$ 126,948

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
處分備供出售金融資產	$ 236,336	$ 216,709
減：期末應收投資款	-	(6,914)
本期現金收取數	$ 236,336	$ 209,795

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
取得不動產、廠房及設備	$ 240,235	$ 849,967
加：期初應付設備款	72,935	259,683
減：期末應付設備款	(21,979)	(41,167)
本期支付現金	$ 291,191	$ 1,068,483

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
處分不動產、廠房及設備	$ 18,756	$ 6,292
加：期初應收土地拆遷補償金及獎勵金	-	76,350
本期現金收取數	$ 18,756	$ 82,642

2.不影響現金流量之籌資活動：

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
可轉換公司債轉換股本	$ -	$ 32,030
一年內到期之長期借款	$ 152,798	$ 159,596
一年內到期之應付公司債	$ 85,022	$ -

3.本集團分別於民國106年1月1日及106年2月1日出售子公司-鋅呈工業50%之股權及Shine Trade 51.28%之股權，致本集團喪失對該子公司之控制(請詳附註四(三)2.註4及註5)，該交易收取之對價及該子公司相關資產及負債之資訊如下：

	鋅呈工業	Shine Trade
收取對價		
現金	$ 10,605	$ 33,286
子公司資產及負債帳面金額		
現金	$ 857	$ 14,101
應收票據、帳款及其他應收款	5,975	135,699
存貨	-	17,939
預付款項及其他流動資產	49	6,901
不動產、廠房及設備	12,635	34,744
無形資產	73	-
其他非流動資產	6,500	1,896
銀行借款	-	(64,500)
應付票據、帳款及其他應付款	(4,842)	(79,645)
本期所得稅負債	-	(596)
其他流動負債	(58)	-
淨資產總額	$ 21,189	$ 66,539
出售子公司之淨現金變動影響數		
以現金收取之對價	$ 10,605	$ 33,286
減：出售子公司之現金帳面價值	(857)	(14,101)
	$ 9,748	$ 19,185

(1)出售子公司-鋅呈工業之損益如下：

	金額
收取之對價	$ 10,605
出售之淨資產	(21,189)
非控制權益	10,637
處分利益	$ 53

(2)出售子公司-Shine Trade係屬共同控制下個體之組織重組，請詳附註七4.之說明。

七、關係人交易

(一)母公司與最終控制者

本公司由能率投資股份有限公司(在中華民國註冊成立)控制，其擁有本公司23.15%股份。其餘則被大眾持有。本公司之最終母公司與最終控制者均為能率投資股份有限公司。

(二)關係人之名稱及關係

關係人名稱	與本集團關係
上奇科技股份有限公司(上奇科技)	本公司採用權益法之被投資公司
佳能企業股份有限公司(佳能企業)	本公司採用權益法之被投資公司
ViewQuest Technologies (BVI) Inc.(VQ)	佳能企業之子公司
Action Pioneer International Ltd.(Action)	佳能企業之子公司
能率網通股份有限公司(能率網通) (原名：能率豐聲股份有限公司)	該公司之最終母公司與本公司之最終母公司相同
應華精密金屬製品(蘇州)有限公司(蘇州金屬)	能率網通之子公司
禮興塑膠(深圳)有限公司(深圳禮興)	能率網通之子公司
禮興塑膠(香港)有限公司(香港禮興)	能率網通之子公司
Shine Trade International Ltd. (Shine Trade)	本公司採用權益法之被投資公司
能率管理顧問股份有限公司(能率管顧)	該公司董事長及董事與本公司董事為同一人

註：本集團民國 106 年 8 月辭任上奇科技之董事席次，故對上奇科技不再採用權益法法評價，自此上奇科技非為本集團之關係人。

(三)與關係人間之重大交易事項

以下僅揭露構成關係人後之交易金額或是關係人終止前之金額。

1.營業收入

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
商品銷售：		
-其他關係人	$ 1,924	$ 1,228
-關聯企業	36,508	46,952
	$ 38,432	$ 48,180

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
商品銷售：		
-其他關係人	$ 10,339	$ 3,209
-關聯企業	104,858	46,952
	$ 115,197	$ 50,161

(1)商品銷售之交易價格與收款條件依雙方協議之條件辦理。

(2)本公司民國 105 年 6 月因擔任關聯企業之法人董事，自此互為關係人。本集團民國 105 年 1 月 1 日至 6 月 30 日(成為關係人前)銷售予該關聯企業之金額為$94,949。

2.應收關係人款項

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
商品銷售：			
-其他關係人	$ 2,264	$ 1,083	$ 472
-關聯企業	49,867	91,540	64,392
	$ 52,131	$ 92,623	$ 64,864

應收關係人款項主要來自銷售商品交易，銷售交易之款項於月結 120 日內收款。

3.財產交易

(1)取得不動產、廠房及設備

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
關聯企業	$ 5,839	$ -

(2)處分不動產、廠房及設備

	106年1月1日至9月30日		105年1月1日至9月30日	
	處分價款	處分(損)益	處分價款	處分(損)益
其他關係人	$ -	$ -	$ 1,943	$ 175

(3)取得金融資產

106年1月1日至9月30日				
	帳列項目	交易股權	交易標的	取得價款
上奇科技	以成本法衡量之金融資產	2,000仟股	宏羚股份有限公司	$ 30,000

4.本公司之子公司-捷邦國際民國 106 年 5 月 15 日向關係人能率網通購買 DaiichiKasei15%之股權，請詳附註六(三十五)。

5.本集團民國 106 年 2 月 1 日出售其持有 Shine Trade 51.28%之股權予關係人-香港禮興，出售價格為$33,286(美金 1,100 仟元)，因前述交易屬共同控制下個體之組織重組，應採用帳面價值法之會計處理，交易價格與帳面價值$34,121 之差異，並扣除先前已認列國外營運機構財務報表換算之兌換差額($8,247)，本集團因而調整資本公積-股本溢價($9,082)。

6.管理顧問

(1)本公司之子公司-能率壹創投與其他關係人-能率管顧簽訂委託經營管理契約，合約期間自民國 100 年 9 月 20 日至民國 108 年 9 月 20 日。年度管理費依合約規定，能率壹創投第一年至第四年依實收資本額之 2%計算；第五年至第八年依實收資本額之 2%計算，但如經會計師查核簽證之淨值低於實收資本額 50%，則依淨值之 2%計算下一年度之管理費。管理費支付每年為一期，於每期第一個月 5 日以前預付。

(2)A.除上述管理費外，能率管顧應於每一會計年度結束後3個月內結算當年度受託經營之稅前淨收益。能率壹創投就該稅前淨收益之20%提列績效獎金，於財務報告經會計師查核簽證及股東會通過後支付能率管顧該筆績效獎金。若當年度稅前淨利為負數時，應累積至次年度，前述稅前淨收益應先行彌補前期虧損方可分配績效獎金。

B.稅前淨收益係指當年度之利息收入、現金股息、紅利及已實現資本收益減除當年度管理費用與開辦費用攤銷之營業費用、已實現及未實現投資損失及資金成本(累計投資金額乘以台灣銀行一年期定存利率)。

(3)因前述交易產生之預付款項及勞務費如下：

預付款項：	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
其他關係人	$ 5,000	$ -	$ 5,000

勞務費：	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
其他關係人	$ 5,000	$ 5,000

勞務費：	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
其他關係人	$ 15,000	$ 15,000

(四)主要管理階層薪酬資訊

	106年7月1日至9月30日	105年7月1日至9月30日
短期員工福利	$ 10,302	$ 12,134
退職後福利	96	90
	$ 10,398	$ 12,224

	106年1月1日至9月30日	105年1月1日至9月30日
短期員工福利	$ 29,089	$ 34,088
退職後福利	288	258
	$ 29,377	$ 34,346

八、質押之資產

本集團之資產提供擔保明細如下：

資產帳面價值	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日	擔保用途
土地	$ 377,305	$ 386,419	$ 435,913	長期借款
房屋及建築	67,509	75,454	87,061	長期借款
	$ 444,814	$ 461,873	$ 522,974	

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

(一)或有事項

本公司之子公司-捷邦國際民國 106 年 7 月接獲兆明技術工程有限公司提告請求給付工程款之民事起訴狀，兆明技術工程有限公司要求捷邦國際支付工程款$4,741 及自民國 103 年 1 月 7 日起按年息 5%計算之遞延利息，捷邦國際已委請律師處理，該案安排民國 106 年 8 月進行第一次調解，目前尚未進入實質審理階段。

(二)承諾事項

1.已簽約但尚未發生之資本支出

	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
不動產、廠房及設備	$ 75,799	$ 48,512	$ 111,414

2.本集團因不可取消營業租賃之未來最低租賃給付總額，請詳附註六(三十四)。

3.本集團為取得銀行借款額度，提供背書保證金額明細如下:

背書保證者公司名稱	背書保證對象	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
應華精密科技	Shine Trade	$ -	$ 143,640	$ 143,640
應華精密科技	東莞承光	150,000	150,000	150,000
捷邦國際	Sinobridge Corporation	30,620	48,992	48,992
捷邦國際	群勝蘇州	79,596	81,135	81,135
捷邦國際	捷邦精密	190,000	210,000	205,000
DaiichiKasei	IKKA Vietnam	192,274	216,006	192,274
DaiichiKasei	IKKA HK	79,546	98,458	98,458
DaiichiKasei	M.A.C. Techonology	13,779	13,779	13,779
DaiichiKasei	東莞一化精密	15,131	26,032	26,032

十、重大之災害損失

無。

十一、重大之期後事項

無。

十二、其他

(一)資本管理

本集團之資本管理目標，係為保障公司能繼續經營，維持最佳資本結構以降低資金成本，並為股東提供報酬。為了維持或調整資本結構，本集團可能會調整支付予股東之股利金額、退還資本予股東、發行新股或出售資產以降低債務。

(二)金融工具

1.金融工具公允價值資訊

本集團非以公允價值衡量之金融工具(包括現金及約當現金、應收票據、應收帳款(含關係人)、其他應收款、短期借款、應付票據、應付帳款、其他應付款、應付公司債及長期借款(含一年內到期))的帳面金額係公允價值之合理近似值;另以公允價值衡量之金融工具的公允價值資訊請詳附註十二(三)。

2.財務風險管理政策

(1)本集團日常營運受多項財務風險之影響，包含市場風險(包括匯率風險、利率風險、及價格風險)、信用風險及流動性風險。本集團整體風險管理政策著重於金融市場的不可預測事項，並尋求可降低對本集團財務狀況及財務績效之潛在不利影響。

(2)風險管理工作由本集團財務部按照董事會核准之政策執行。本集團財務部透過與集團營運單位密切合作，負責辨認、評估與規避財務風險。董事會對整體風險管理訂有書面原則，亦對特定範圍與事項提供書面政策，例如匯率風險、利率風險、信用風險、衍生與非衍生金融工具之使用，以及剩餘流動資金之投資。

3.重大財務風險之性質及程度

(1)市場風險

匯率風險

A.本集團從事之業務涉及若干非功能性貨幣(本公司及部分子公司之功能性貨幣為新台幣、部分子公司之功能性貨幣為人民幣及美金等)，故受匯率波動之影響，具重大匯率波動影響之外幣資產及負債資訊如下：

	106年9月30日		
(外幣:功能性貨幣)	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	$ 27,170	30.26	$ 822,164
美金：人民幣	29,902	6.65	904,835
港幣：人民幣	218	1.18	844
港幣：美金	3,494	7.82	13,522
日幣：新台幣	12,321	0.27	3,327
人民幣：美金	18,413	0.15	83,779
金融負債			
貨幣性項目			
美金：新台幣	15,638	30.26	473,206

	105年12月31日		
(外幣:功能性貨幣)	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	$ 24,033	32.25	$ 775,064
美金：人民幣	27,585	6.99	889,616
港幣：美金	2,451	7.75	10,196
日幣：新台幣	9,382	0.28	2,627
人民幣：美金	25,283	0.14	116,807
金融負債			
貨幣性項目			
美金：新台幣	14,800	32.25	477,300
人民幣：美金	5,027	0.14	23,225

	105年9月30日		
(外幣:功能性貨幣)	外幣(仟元)	匯率	帳面金額 (新台幣)
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	$ 27,917	31.36	$ 875,477
美金：人民幣	28,038	6.68	879,272
港幣：人民幣	2,881	1.16	11,639
港幣：美金	2,588	7.76	10,456
日幣：新台幣	6,359	0.31	1,971
人民幣：美金	25,887	0.15	121,410
金融負債			
貨幣性項目			
美金：新台幣	15,047	31.36	471,874
人民幣：美金	4,816	0.15	22,587

B.本集團貨幣性項目因匯率波動具重大影響，民國106年及105年7月1日至9月30日暨民國106年及105年1月1日至9月30日認列之全部淨兌換(損)益(含已實現及未實現)彙總金額分別為($14,453)、($7,719)、($54,540)及($50,164)

C.本集團因重大匯率波動影響之外幣市場風險分析如下：

	106年1月1日至9月30日		
	敏感度分析		
(外幣:功能性貨幣)	變動幅度	影響損益	影響綜合損益
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	1%	$ 8,222	$ -
美金：人民幣	1%	9,048	-
港幣：人民幣	1%	8	
港幣：美金	1%	135	-
日幣：新台幣	1%	33	-
人民幣：美金	1%	838	-
金融負債			
貨幣性項目			
美金：新台幣	1%	473	-

	105年1月1日至9月30日		
	敏感度分析		
(外幣:功能性貨幣)	變動幅度	影響損益	影響綜合損益
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	1%	$ 8,755	$ -
美金：人民幣	1%	8,793	-
港幣：人民幣	1%	116	-
港幣：美金	1%	105	-
日幣：新台幣	1%	20	-
人民幣：美金	1%	1,214	-
金融負債			
貨幣性項目			
美金：新台幣	1%	4,719	-
人民幣：美金	1%	226	-

價格風險

A. 由於本集團持有之投資於合併資產負債表中係分類為備供出售金融資產，或透過損益按公允價值衡量之金融資產，因此本集團暴露於權益工具之價格風險。本集團未有商品價格風險之暴險。為管理權益工具投資之價格風險，本集團將其投資組合分散，其分散之方式係根據本集團設定之限額進行。

B. 本集團主要投資於上市櫃及未上市櫃之權益工具，此等權益工具之價格會因該投資標的未來價值之不確定性而受影響。若該等權益工具價格上升或下跌 1%，而其他所有因素維持不變之情況下，民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅後淨利因來自透過損益按公允價值衡量之權益工具之利益或損失將分別增加或減少$3,332 及$3,087；對於股東權益之影響因分類為備供出售之權益工具之利益或損失分別增加或減少$4,244 及$4,705。

利率風險

A. 本集團之利率風險來自銀行借款。按浮動利率發行之借款使本集團承受現金流量利率風險，部分風險被按浮動利率持有之現金及約當現金抵銷。按固定利率發行之借款則使本集團承受公允價值利率風險。

B. 本集團模擬多項方案並分析利率風險，包含考量再融資、現有部位之續約、其他可採用之融資和避險等，以計算特定利率之變動對損益之影響。就每個模擬方案，所有貨幣均係採用相同之利率變動。此等模擬方案僅運用於計息之重大負債部位。

C. 民國 106 年及 105 年 9 月 30 日，若借款利率增加或減少 1%，在所有其他因素維持不變之情況下，民國 106 年及 105 年 1 月 1 日

至 9 月 30 日之稅前淨利將減少或增加$10,818 及$12,488，主要係因浮動利率借款導致利息費用增加或減少。

(2)信用風險

A.信用風險係本集團因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義務而產生財務損失之風險。本集團依內部明定之授信政策，集團內各營運個體於訂定付款及提出交貨之條款與條件前，須就其每一新客戶進行管理及信用風險分析。內部風險控管係透過考慮其財務狀況、過往經驗及其他因素，以評估客戶之信用品質。個別風險之限額係董事會依內部或外部之評等而制訂，並定期監控信用額度之使用。主要信用風險來自現金及約當現金、衍生金融工具，及存放於銀行與金融機構之存款，亦有來自於銷售顧客之信用風險，並包括尚未收現之應收帳款。

B.民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，並無超出信用限額之情事，且管理階層不預期會受交易對手之不履約而產生任何重大損失。

C.本集團評估可能發生減損之金融資產的個別分析請詳附註六各金融資產之說明。

(3)流動性風險

A.各營運個體所持有之剩餘現金，在超過營運資金之管理所需時，將轉撥回集團財務部。集團財務部則將剩餘資金投資於附息之活期存款、定期存款及有價證券，其所選擇之工具具有適當之到期日或足夠流動性，以因應上述預測並提供充足之調度水位。

B.下表係本集團之非衍生金融負債及以淨額或總額交割之衍生金融負債，按相關到期日予以分組，非衍生金融負債係依據資產負債表日至合約到期日之剩餘期間進行分析；衍生金融負債係依據資產負債表日至預期到期日之剩餘期間進行分析。下表所揭露之合約現金流量金額係未折現之金額。

	106年9月30日		105年12月31日	
非衍生金融負債：	1年以下	1年以上	1年以下	1年以上
短期借款	$ 927,788	$ -	$ 928,263	$ -
應付短期票券	99,886	-	99,884	-
應付票據	157,133	-	196,503	-
應付帳款	1,131,775	-	1,206,485	-
其他應付款	790,540	-	839,297	-
應付公司債	85,300	1,258,600	85,300	1,258,600
長期借款	152,798	261,877	157,174	198,962

	105年9月30日	
非衍生金融負債：	1年以下	1年以上
短期借款	$ 1,149,003	$ -
應付短期票券	109,871	-
應付票據	172,228	-
應付帳款	1,178,192	-
其他應付款	897,912	-
應付公司債	-	1,343,900
長期借款	159,595	246,604

(三)公允價值資訊

1. 本集團非以公允價值衡量之金融資產及金融負債之公允價值資訊請詳附註十二(二)1.說明。

2. 為衡量金融工具之公允價值所採用評價技術的各等級定義如下：

第一等級：企業於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。活絡市場係指有充分頻率及數量之資產或負債交易發生，以在持續基礎上提供定價資訊之市場。本集團投資之上市櫃、興櫃股票投資及基金的公允價值皆屬之。

第二等級：資產或負債直接或間接之可觀察輸入值，但包括於第一等級之報價者除外。

第三等級：資產或負債之不可觀察輸入值。本集團投資之無活絡市場之權益工具投資皆屬之。

3. 民國106年9月30日、105年12月31日及105年9月30日以公允價值衡量之金融工具，本集團依資產及負債之性質、特性及風險及公允價值等級之基礎分類，相關資訊如下：

	第一等級		
	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
資產:			
重複性公允價值			
透過損益按公允價值衡量之金融資產			
權益證券	$ 333,174	$ 300,261	$ 308,666
備供出售金融資產			
權益證券	377,301	457,537	449,563
	$ 710,475	$ 757,798	$ 758,229

	第二等級		
	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
資產:			
重複性公允價值			
透過損益按公允價值衡量之金融資產			
可轉換公司債-賣回權及買回權	$ -	$ -	$ 51
備供出售金融資產			
權益證券	-	-	20,887
	$ -	$ -	$ 20,938
負債:			
重複性公允價值			
透過損益按公允價值衡量之金融負債			
可轉換公司債-賣回權及買回權	$ 1,510	$ 7,803	$ 2,517

	第三等級		
	106年9月30日	105年12月31日	105年9月30日
資產:			
重複性公允價值			
備供出售金融資產			
權益證券	$ 47,077	$ 31,279	$ -

4. 本集團用以衡量公允價值所使用之方法及假設說明如下：

(1)本集團採用市場報價作為公允價輸入值(即第一等級)者，依工具之特性分別如下：

	上市(櫃)公司股票	興櫃公司股票	基金
市場報價	收盤價	最後一筆或成交價	淨值

(2)除上述有活絡市場之金融工具外，其餘金融工具之公允價值係以評價技術或參考交易對手報價取得。透過評價技術所取得之公允價值可參照其他實質上條件及特性相似之金融工具之現時公允價值或以其他評價技術，包括以合併資產負債表日可取得之市場資訊運用模型計算而得。

(3)當評估非標準化且複雜性較低之金融工具時，例如無活絡市場之債務工具、利率交換合約、匯換合約及選擇權，本集團採用廣為市場參與者使用之評價技術。此類金融工具之評價模型所使用之參數通常較為市場可觀察資訊。

5. 本集團無第一等級、第二等級及第三等級間之任何移轉。

6. 下表列示於民國 106 年及 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日屬於第三級金融工具之變動：

	非衍生權益工具	
	106年	105年
1月1日	$ 31,279	$ -
本期購買	15,146	-
認列於其他綜合(損)益	2,179	-
匯差	(1,527)	-
9月30日	$ 47,077	$ -

7. 本集團對於公允價值歸類於第三等級之評價流程係由投資管理部門負責進行金融工具之獨立公允價值驗證，藉獨立來源資料使評價結果貼近市場狀態、確認資料來源係獨立、可靠、與其他資源一致以及代表可執行價格，並定期校準評價模型、進行回溯測試、更新評價模型所需輸入值及資料及其他任何必要之公允價值調整，以確保評價結果係屬合理。

另投資管理部門訂定金融工具公允價值評價政策、評價程序及確認符合相關國際財務報導準則之規定。

8. 有關屬第三等級公允價值衡量項目所使用評價模型之重大不可觀察輸入值之量化資訊及重大不可觀察輸入值變動之敏感度分析說明如下：

	106年9月30日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具				
私募基金投資	$ 47,077	淨資產價值法	不適用	不適用

	105年12月31日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具				
私募基金投資	$ 31,279	淨資產價值法	不適用	不適用

9. 本集團經審慎評估選擇採用之評價模型及評價參數，因此對公允價值衡量係屬合理，惟當使用不同之評價模型或評價參數可能導致評價之結果不同。針對分類為第三等級之金融資產，若評價參數變動，則對本期損益或其他綜合損益之影響如下：

				認列於其他綜合損益	
金融資產	期間	輸入值	變動	有利變動	不利變動
權益工具	106年9月30日	$ 47,077	± 1%	$ 470	($ 470)
權益工具	105年12月31日	31,279	± 1%	313	(313)

十三、附註揭露事項

有關被投資公司應揭露資訊中，下列與各子公司間交易資訊，於編製合併財務報告時皆已沖銷，以下揭露資訊係供參考。

(一)重大交易事項相關資訊

1.資金貸與他人：請詳附表一。

2.為他人背書保證：請詳附表二。

3.期末持有有價證券情形(不包含投資子公司、關聯企業部分)：請詳附表三。

4.累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

5.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

6.處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

7.與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：請詳附表四。

8.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：請詳附表五。

9.從事衍生性金融商品交易：無。

10.母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：請詳附表六。

(二)轉投資事業相關資訊

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊(不包含大陸被投資公司)：請詳附表七。

(三)大陸投資資訊

1.基本資料：請詳附表八。

2.直接或間接經由第三地區事業與轉投資大陸之被投資公司所發生之重大交事項：請詳附表九。

十四、部門資訊

(一)一般性資訊

本集團係以產品別生產製造之角度經營業務及制定決策，故管理階層亦依此一模式用以辨認應報導部門。

本集團應有6個應報導部門：金屬光電零組件事業群、塑膠光電零組件事業群、電動工具及粉末冶金事業群、塑膠製品零組件事業群、創業投資事業群與其他。金屬光電零組件事業群係針對3C電子產品之金屬外觀件及內構件生產製造；塑膠光電零組件事業群係針對3C電子產品之塑膠外觀件及內構件生產製造；電動工具及粉末冶金事業群係生產製造電動工具零組件及粉末冶金製品；塑膠製品零組件事業群係生產製造汽車相關精密塑膠配件；創業投資事業群係從事創業投資之業務。

本集團之應報導部門係策略性事業單位，以提供不同之產品及勞務。由於每一策略性事業單位需要不同技術及行銷策略，故須分別管理。

(二)部門資訊

提供予主要營運決策者之應報導部門資訊如下：

	106年1月1日至9月30日							
	金屬光電零組件事業群	塑膠光電零組件事業群	電動工具及粉末冶金事業群	塑膠製品零組件事業群	創業投資事業群	其他	調整及銷除	總計
收入：								
外部客戶收入	$1,890,569	$ 19,722	$1,535,073	$2,423,314	$ -	$ -	$ -	$5,868,678
部門間收入	-	175	-	-	-	-	(175)	-
收入合計	$1,890,569	$ 19,897	$1,535,073	$2,423,314	$ -	$ -	($ 175)	$5,868,678
部門損益	$ 177,935	($ 2,636)	$ 19,558	$ 72,613	($ 30,752)	$ 2,143	($ 3,951)	$ 234,910

	105年1月1日至9月30日							
	金屬光電零組件事業群	塑膠光電零組件事業群	電動工具及粉末冶金事業群	塑膠製品零組件事業群	創業投資事業群	其他	調整及銷除	總計
收入：								
外部客戶收入	$1,641,671	$184,904	$1,483,131	$2,391,898	$ -	$ -	$ -	$5,701,604
部門間收入	1,878	31,831	-	-	-	-	(33,709)	-
收入合計	$1,643,549	$216,735	$1,483,131	$2,391,898	$ -	$ -	($ 33,709)	$5,701,604
部門損益	$ 133,626	$ 17,691	$ 2,769	$ 49,727	($ 79,100)	($ 424)	$ 10,309	$ 134,598

應華精密科技股份有限公司

資金貸與他人

民國106年1月1日至9月30日

附表一

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高金額	期末餘額	實際動支金額	利率區間	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額	資金貸與總限額	備註
1	Gold Market Investments	東莞承光	其他應收款	Y	$ 335,843	$ -	$ -	1.00	短期融通	$ -	營業週轉	$ -	-	$ -	$1,271,230	$1,271,230	註1
1	Gold Market Investments	東莞承光	其他應收款	Y	303,800	303,800	-	1.00	短期融通	-	營業週轉	-	-	-	1,271,230	1,271,230	註1
2	M.A.C Technology	IKKA Vietnam	其他應收款	Y	33,651	-	-	3.68	短期融通	-	營業週轉	-	-	-	51,332	68,443	註2

註1： 本公司資金貸與總額不得超過貸與企業淨值的40%。又可區分下列情形：

1.資金貸與有業務往來公司或行號者，貸與總額以不超過貸與企業淨值20%為限；而個別貸與金額以不超過雙方間最近一年度業務往來金額為限。所稱業務往來金額係指雙方間進貨或銷貨金額孰高者。

2.資金貸與有短期融通資金必要之公司或行號者，該貸與總金額以不超過貸與企業淨值20%為限；個別貸與金額以不超過貸與企業淨值10%為限。

3.本公司直接或間接持有表決權股100%之國外公司間，從事資金貸與，不受前款之限制。唯該貸與總金額以不超過貸與企業淨值40%為限，個別貸與金額以不超過貸與企業淨值40%為限。

註2： M.A.C Technology資金貸與總額不得超過貸與企業淨值40%，個別資金貸與限額不得超過貸與企業淨值30%。

應華精密科技股份有限公司

為他人背書保證

民國106年1月1日至9月30日

附表二

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象 公司名稱	被背書保證對象 關係(註1)	對單一企業背書保證限額	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率	背書保證最高限額	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證	備註
0	應華精密科技	Shine Trade	2	$ -	$ 143,640	$ -	$ -	$ -	-	$ -	Y	N	N	註4
0	應華精密科技	東莞承光	4	2,061,790	150,000	150,000	1,111	-	3.64	4,123,580	Y	N	Y	註2
1	捷邦國際	Sinobridge Corporation	2	470,175	48,992	30,620	3,540	-	2.61	822,806	Y	N	N	註3
1	捷邦國際	捷邦精密	2	470,175	230,000	190,000	90,000	-	16.17	822,806	Y	N	N	註3
1	捷邦國際	群勝蘇州	2	470,175	81,135	79,596	60,040	-	6.78	822,806	Y	N	Y	註3
2	DaiichiKasei	IKKA Vietnam	2	312,180	192,274	192,274	96,400	-	24.64	546,315	N	N	N	註3
2	DaiichiKasei	IKKA HK	2	312,180	98,458	79,546	44,955	-	10.20	546,315	N	N	N	註3
2	DaiichiKasei	M.A.C Technology	2	312,180	13,779	13,779	2,082	-	1.77	546,315	N	N	N	註3
2	DaiichiKasei	東莞一化精密	4	312,180	26,032	15,131	2,437	-	1.94	546,315	N	N	Y	註3

註1： 背書保證者與被背書保證對象之關係有下列六種，各關係代號說明如下：
(1)有業務關係之公司。
(2)直接持有普通股股權超過50%之子公司。
(3)母公司與子公司持有普通股股權合併計算超過50%之被投資公司。
(4)對公司直接或經由子公司間接持有普通股股權超過50%之母公司。
(5)基於承攬工程需要之同業間依合約規定互保之公司。
(6)因共同投資關係由各出資股東依其持股比率對其背書保證之公司。

註2： 本公司對外背書保證之總額不得超過當期淨值。對單一企業背書保證額度以不超過當期淨值50%為限，惟對海外單一聯屬公司則以不超過淨值40%為限，業務關係從事背書保證則不得超過最近一年度與本公司交易之總額(雙方間進貨或銷貨金額孰高者)。淨值以最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報表所載為準。

註3： 捷邦國際及DaiichiKasei背書保證最高限額為不得超過背書保證公司最近一期經會計師核閱/查核財務報表所載淨值70%，對單一企業之背書保證限額，除捷邦國際直接持有普通股股權超過90%之子公司以不超過最近一期經會計師核閱/查核財務報表所載淨值之40%，其餘不得超過背書保證公司當期淨值30%。

註4： 本公司民國106年2月出售其持有Shine Trade之股權，並於民國106年3月經董事會決議註銷對Shine Trade之背書保證，惟本公司對Shine Trade背書保證期間，Shine Trade仍屬本公司之子公司。

應華精密科技股份有限公司

期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）

民國106年9月30日

附表三

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

持有之公司	有價證券種類及名稱		與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數(仟股)	期末 帳面金額	期末 持股比例	期末 公允價值	備註
應華精密科技	股票	東科控股股份有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	890	$ 26,700	1.45	$ 26,700	未質押
應華精密科技	股票	長榮海運股份有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	200	3,650	0.01	3,650	未質押
應華精密科技	股票	上奇科技股份有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	2,059	75,757	3.56	75,757	未質押
應華精密科技	股票	威馳克媒體集團股份有限公司	-	備供出售金融資產-流動	117	16,497	0.36	16,497	未質押
應華精密科技	股票	能率網通股份有限公司 （原名：能率豐聲股份有限公司）	本公司董事與該公司董事長為同一人	備供出售金融資產-非流動	6,625	138,803	12.78	138,803	未質押
應華精密科技	股票	影一製作所股份有限公司	本公司董事長與該公司董事長為同一人	備供出售金融資產-非流動	2,285	27,284	8.16	27,284	未質押
應華精密科技	股票	洋盟國際股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	800	-	7.33	-	未質押
應華精密科技	股票	傑聖科技股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	6,200	-	8.60	-	未質押
應華精密科技	股票	Mobility Holdings Ltd.	-	以成本衡量之金融資產-非流動	113	14,912	3.23	14,912	未質押
Gold Market Investments	基金	EVENSTAR FD A	-	備供出售金融資產-流動	1	146,259	-	146,259	未質押
Gold Market Investments	基金	M17 Growth SPV LLC	-	以成本衡量之金融資產-非流動	-	15,887	-	15,887	未質押
AVY High-Tech	基金	Infinity e.ventures Asia III,L.P.	-	備供出售金融資產-非流動	-	47,077	-	47,077	未質押
應華工業	基金	第一金台灣貨幣市場基金	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	983	14,929	-	14,929	未質押
應華工業	股票	應華精密科技股份有限公司	持有公司之母公司	備供出售金融資產-流動	830	40,859	0.76	40,859	未質押
能率壹創投	股票	台灣三洋電機股份有限公司	本公司董事長與該公司董事為同一人	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	4,104	97,265	1.53	97,265	未質押
能率壹創投	股票	北控醫療健康產業集團有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	1,836	3,069	0.03	3,069	未質押
能率壹創投	股票	東科控股股份有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	461	13,830	0.75	13,830	未質押
能率壹創投	股票	威馳克媒體集團股份有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	491	69,231	1.52	69,231	未質押
能率壹創投	股票	宏旭控股股份有限公司	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	589	28,743	1.42	28,743	未質押
能率壹創投	股票	影一製作所股份有限公司	本公司董事長與該公司董事長為同一人	備供出售金融資產-非流動	2,795	33,371	9.98	33,371	未質押
能率壹創投	股票	永精控股股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	1,212	48,051	2.18	48,051	未質押
能率壹創投	股票	Mobility Holdings Ltd.	-	以成本衡量之金融資產-非流動	225	29,780	6.46	29,780	未質押
能率壹創投	股票	Pinkoi Inc.	-	以成本衡量之金融資產-非流動	865	13,479	4.76	13,479	未質押
能率壹創投	股票	傑聖科技股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	5,800	-	8.05	-	未質押
能率壹創投	股票	晨暉生物科技股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	700	20,400	2.41	20,400	未質押
能率壹創投	股票	鬥品膳國際控股有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	500	35,000	2.17	35,000	未質押
能率壹創投	股票	謙華科技股份有限公司	本公司董事與該公司董事為同一人	以成本衡量之金融資產-非流動	3,125	50,000	3.13	50,000	未質押

應華精密科技股份有限公司

期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）

民國106年9月30日

附表三

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

持有之公司	有價證券種類及名稱		與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數(仟股)	期末 帳面金額	期末 持股比例	期末 公允價值	備註
能率壹創投	股票	Win Group Ltd.	-	以成本衡量之金融資產-非流動	52	$ 24,508	4.16	$ 24,508	未質押
能率壹創投	股票	Entertainment Holding Ltd.(Cayman)	-	以成本衡量之金融資產-非流動	3	28,644	2.25	28,644	未質押
能率壹創投	股票	宏羚股份有限公司	本公司董事與該公司董事為同一人	以成本衡量之金融資產-非流動	2,000	30,000	8.26	30,000	未質押
能率壹創投	股票	復盛應用科技股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	700	85,750	0.59	85,750	未質押
能率壹創投	股票	M17 Entertainment Ltd.	-	以成本衡量之金融資產-非流動	586	15,829	0.30	15,829	未質押
能率壹創投	股票	台灣欣恆美股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	390	2,211	1.88	2,211	未質押
捷邦國際	股票	元富鋁業股份有限公司	-	備供出售金融資產-非流動	13	-	-	-	未質押
捷邦國際	股票	Mobility Holdings Ltd.	-	以成本衡量之金融資產-非流動	113	14,962	-	14,962	未質押
捷邦國際	股票	傑聖科技股份有限公司	-	以成本衡量之金融資產-非流動	500	-	-	-	未質押
DaiichiKasei	股票	Sony Corporation	-	備供出售金融資產-非流動	3	3,380	-	3,380	未質押
DaiichiKasei	股票	Panasonic Corporation	-	備供出售金融資產-非流動	2	706	-	706	未質押
DaiichiKasei	股票	Sumitomo Electric Industries	-	備供出售金融資產-非流動	12	6,025	-	6,025	未質押
DaiichiKasei	股票	Brother Industries, Ltd.	-	備供出售金融資產-非流動	7	4,976	-	4,976	未質押

應華精密科技股份有限公司

與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國106年1月1日至9月30日

附表四

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

進(銷)貨之公司	交易對象名稱	關係	交易情形				交易條件與一般交易不同之情形及原因		應收(付)票據、帳款		
			進(銷)貨	金額	佔總進(銷)貨之比率	授信期間	單價	授信期間	餘額	佔總應收(付)票據、帳款之比率	備註
捷邦國際	Best Achieve Industrial	捷邦國際之孫公司	(銷貨)	($ 1,082,530)	(27)	月結90天	無顯著差異	與一般客戶相當	$ 300,278	28	-
捷邦國際	Cranmer Enterprises	捷邦國際之孫公司	進貨	1,016,374	30	月結90天	無顯著差異	與一般客戶相當	(179,078)	(20)	-
捷邦國際	毅金精密	捷邦國際之孫公司	(銷貨)	(182,096)	(5)	月結90天	無顯著差異	與一般客戶相當	71,189	7	-
Cranmer Enterprises	東莞百事得	捷邦國際之孫公司	進貨	965,723	28	月結90天	無顯著差異	與一般客戶相當	(9,442)	(1)	-

應華精密科技股份有限公司

應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國106年9月30日

附表五

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

帳列應收款項之公司	交易對象名稱	關係	應收關係人款項餘額	週轉率	逾期應收關係人款項		應收關係人款項期後收回金額	提列備抵呆帳金額
					金額	處理方式		
捷邦國際	Best Achieve Industrial	捷邦國際之孫公司	應收帳款-關係人 $ 300,278	5.39	$ -	-	$ -	$ -
Cranmer Enterprises	捷邦國際	本公司之子公司	應收帳款-關係人 179,078	8.57	-	-	-	-
IKKA HK	東莞一化精密	本公司之孫公司	應收帳款-關係人 309,404	0.23	-	-	-	-

應華精密科技股份有限公司

母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國106年1月1日至9月30日

附表六

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註)	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率(%)
0	應華精密科技	東莞承光	1	進貨	$ 19,753	-	-
0	應華精密科技	東莞承光	1	應付帳款	11,728	-	-
1	捷邦國際	Best Achieve Industrial	3	銷貨收入	1,082,530	雙方議價	18
1	捷邦國際	Best Achieve Industrial	3	應收帳款	300,278	月結90天	3
1	捷邦國際	Best Achieve Industrial	3	預收款項	42,825	-	-
1	捷邦國際	Cranmer Enterprises	3	進貨	1,016,374	雙方議價	17
1	捷邦國際	Cranmer Enterprises	3	應收帳款	56,569	月結90天	1
1	捷邦國際	Cranmer Enterprises	3	應付帳款	179,078	-	2
1	捷邦國際	毅金精密	3	銷貨收入	182,096	雙方議價	3
1	捷邦國際	毅金精密	3	應收帳款	71,189	月結90天	1
2	Sinobridge Corporation	群勝蘇州	3	銷貨收入	20,801	雙方議價	-
2	Sinobridge Corporation	群勝蘇州	3	銷貨成本	88,934	雙方議價	2
2	Sinobridge Corporation	群勝蘇州	3	應付帳款	12,172	-	-
3	Cranmer Enterprises	東莞群勝	3	進貨	39,257	雙方議價	1
3	Cranmer Enterprises	東莞群勝	3	應付帳款	66,311	-	1
3	Cranmer Enterprises	東莞百事得	3	進貨	965,723	雙方議價	16
3	Cranmer Enterprises	東莞百事得	3	應付帳款	9,442	月結90天	-
3	Cranmer Enterprises	群勝蘇州	3	應付帳款	10,256	-	-
4	毅金精密	群勝蘇州	3	銷貨收入	12,846	雙方議價	-
4	毅金精密	群勝蘇州	3	應收帳款	5,413	月結90天	-
4	毅金精密	Cranmer Enterprises	3	進貨	6,398	雙方議價	-
4	毅金精密	Cranmer Enterprises	3	應付帳款	2,501	-	-
5	東莞百事得	Precise Plus	3	應付帳款	67,281	-	1
6	Best Achieve Industrial	M.A.C.Technology	3	銷貨收入	72,541	雙方議價	1
6	Best Achieve Industrial	M.A.C.Technology	3	應收帳款	33,609	月結90天	-
7	DaiichiKasei Holdings	DaiichiKasei	3	其他應付款	32,637	月結60天	-
8	DaiichiKasei	IKKA HK	3	進貨	76,431	雙方議價	1
8	DaiichiKasei	IKKA HK	3	應收帳款	99,479	月結60天	1

應華精密科技股份有限公司

母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國106年1月1日至9月30日

附表六

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註)	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率(%)
8	DaiichiKasei	IKKA HK	3	其他應收款	35,538	月結60天	-
8	DaiichiKasei	IKKA Vietnam	3	銷貨收入	95,229	雙方議價	2
8	DaiichiKasei	IKKA Vietnam	3	應收帳款	37,834	月結60天	-
9	IKKA HK	東莞一化精密	3	銷貨收入	40,807	雙方議價	1
9	IKKA HK	東莞一化精密	3	應收帳款	309,404	月結60天	3
10	IKKA Vietnam	IKKA HK	3	銷貨收入	79,598	雙方議價	1
10	IKKA Vietnam	IKKA HK	3	應收帳款	37,884	月結60天	-

註：與交易人之關係有以下三種，依各關係代號說明如下：

(1)母公司對子公司

(2)子公司對母公司

(3)子公司對子公司

應華精密科技股份有限公司

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊（不包含大陸被投資公司）

民國106年1月1日至9月30日

附表七

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期損益	本期認列之投資損益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
應華精密科技	應華工業	台灣	光學器具、電子產品及零件、精密模具之製造加工買賣業	$ 841,360	$ 841,360	59,597,571	100.00	$ 1,091,561	$ 55,951	$ 55,951	子公司
應華精密科技	Gold Market Investments	薩摩亞	轉投資及貿易	1,670,193	1,670,193	3,917,053	68.52	2,192,192	163,973	112,354	子公司
應華精密科技	Avy High Tech	薩摩亞	轉投資及貿易	220,347	220,347	6,776,000	100.00	498,802	30,763	30,763	子公司
應華精密科技	Avy Technology	薩摩亞	轉投資及貿易	1,328	1,328	40,000	100.00	1,000	1	1	子公司
應華精密科技	捷邦國際	台灣	軸受及軸承等冶金製品、汽機車及機械零組件、磁性材料、電子零組件、精密陶磁等之研究開發、加工、製造及內外銷業務	233,066	233,066	13,975,945	21.03	270,807	45,717	9,614	子公司
應華精密科技	能率壹創投	台灣	創業投資業	506,150	506,150	48,300,000	48.30	390,353	(30,099)	(14,538)	子公司
應華精密科技	ABICO Optical	香港	轉投資及貿易	8,355	8,355	144	14.40	-	2,143	-	孫公司
應華精密科技	Shine Trade International	英屬維京群島	電子零組件製造、電子材料零售及模具製造零售等	51,972	133,719	1,044,975	48.72	15,426	(33,649)	(17,746)	權益法
應華精密科技	ABICO R&D	日本	產業用機械設備等研發及製造	1,776	3,908	50	15.00	4,142	14,178	2,127	權益法
應華精密科技	精能光學	台灣	醫療器材製造及研發等	14,616	14,616	1,461,600	6.04	10,695	(19,138)	(1,156)	權益法
應華精密科技	能率亞洲	台灣	創業投資業	200,000	200,000	20,000,000	19.98	179,598	(28,930)	(5,818)	權益法
應華精密科技	佳能企業	台灣	數位電子照相機、光學產品	91,281	91,281	4,138,544	1.47	68,269	216,905	3,189	權益法
應華精密科技	健策精密	台灣	電子零組件業	33,940	33,940	630,283	0.59	26,215	203,160	1,195	權益法
應華精密科技	橘焱國際	台灣	其他餐飲業	30,000	20,000	796,203	7.17	26,771	(1,521)	(10)	權益法
應華工業	Gold Market Investments	薩摩亞	轉投資及貿易	61,075	61,075	1,799,688	31.48	985,884	163,973	51,619	子公司

應華精密科技股份有限公司

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊（不包含大陸被投資公司）

民國106年1月1日至9月30日

附表七

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期損益	本期認列之投資損益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
AVY High Tech	Daiichi Kasei Holdings	日本	塑膠零件及產品之進出口、製造及販售、汽車運送、保管及倉管業務、保險代理業務、不動產買賣、租賃及管理業務	$ 112,583	$ 112,583	8,918	20.00	$ 150,972	$ 61,145	$ 12,215	孫公司
能率壹創投	ABICO Optical	香港	轉投資及貿易	30,550	30,550	513	51.30	-	2,143	-	孫公司
能率壹創投	Daiichi Kasei Holdings	日本	塑膠零件及產品之進出口、製造及販售、汽車運送、保管及倉管業務、保險代理業務、不動產買賣、租賃及管理業務	23,640	23,640	1,784	4.00	30,170	61,145	2,446	孫公司
能率壹創投	精能光學	台灣	醫療器材製造及研發等	22,037	22,037	2,203,700	9.11	16,132	(19,138)	(1,743)	權益法
能率壹創投	橘焱國際	台灣	其他餐飲業	30,000	30,000	796,203	7.17	30,744	(1,521)	(16)	權益法
捷邦國際	能率亞洲	台灣	創業投資業	6,000	6,000	600,000	0.60	6,000	(28,930)	-	權益法
捷邦國際	Phoenix Place Holdings	英屬維京群島	轉投資業務	615,136	592,388	19,516,000	100.00	773,798	39,452	39,452	孫公司
捷邦國際	捷邦精密	台灣	工業用塑膠製品、鋁鑄、鎂鑄、電腦及其週邊設備及模具製造等	200,054	200,054	10,000,000	100.00	1,671	(13,156)	(13,156)	孫公司
捷邦國際	毅金精密	台灣	軸受及軸承等冶金製品、汽機車及機械等零組件、磁性材料、電子零組件及精密陶磁等之研究開發、加工及內外銷業務	10,000	10,000	1,000,000	100.00	18,055	4,327	4,327	孫公司
捷邦國際	Daiichi Kasei Holdings	日本	塑膠零件及產品之進出口、製造及販售、汽車運送、保管及倉管業務、保險代理業務、不動產買賣、租賃及管理業務	385,652	281,768	30,000	66.00	497,813	61,145	37,031	孫公司
捷邦國際	捷誠科技	台灣	電子零組件製造業、電腦及週邊設備製造業、資料儲存媒體製造及複製業及自動控制設備工程等業務	2,000	2,000	200,000	100.00	2,395	352	352	孫公司
Phoenix Place Holdings	Best Achieve Industrial	英屬維京群島	貿易業務	25,802	25,802	493,000	100.00	1,273	61	61	孫公司

應華精密科技股份有限公司

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊（不包含大陸被投資公司）

民國106年1月1日至9月30日

附表七

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期損益	本期認列之投資損益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
Phoenix Place Holdings	Cranmer Enterprise	英屬維京群島	轉投資業務及貿易業務	$ 213,701	$ 190,953	6,700,000	100.00	$ 228,938	$ 7,689	$ 7,689	孫公司
Phoenix Place Holdings	Best Select Industrial	英屬維京群島	轉投資業務	280,411	280,411	9,050,000	100.00	347,759	3,003	3,003	孫公司
Phoenix Place Holdings	Precise Plus Group	英屬維京群島	貿易業務	83,972	83,972	2,650,000	100.00	186,570	29,382	29,382	孫公司
Phoenix Place Holdings	Sinobridge Corporation	薩摩亞	貿易業務	11,316	11,316	350,000	100.00	8,957	(663)	(663)	孫公司
DaiichiKasei Holdings	DaiichiKasei	日本	塑膠零件及產品之進出口、製造、販售、汽車運送、保管及倉管業務、保險代理業務、不動產買賣、租賃及管理業務	345,981	345,981	573,000	100.00	780,450	61,890	61,890	孫公司
DaiichiKasei Holdings	M.A.C Technology	馬來西亞	CD及CD ROM之裝製、電腦印表機、電子及工業用精密陶瓷及模具、電子及相機產業塑膠射出元件	7,233	7,233	1,000,000	3.30	5,647	(7,925)	(262)	孫公司
DaiichiKasei	M.A.C Technology	馬來西亞	CD及CD ROM之裝製、電腦印表機、電子及工業用精密陶瓷及模具、電子及相機產業塑膠射出元件	373,370	373,370	29,415,000	96.70	165,461	(7,925)	(7,663)	孫公司
DaiichiKasei	IKKA Vietnam	越南	生產經營及加工汽、機車及辦公室設備常用塑膠及金屬零件	58,346	58,346	2,500,000	100.00	305,657	34,410	34,410	孫公司
DaiichiKasei	IKKA HK	香港	轉投資及貿易業務	69,409	69,409	19,000,000	100.00	207,260	39,654	39,654	孫公司

應華精密科技股份有限公司

大陸投資資訊－基本資料

民國106年1月1日至9月30日

附表八

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資損益(註1)	期末投資帳面金額	截至本期止已匯回投資收益	備註
					匯出	收回							
東莞承光五金製品有限公司	電子、照相機之零件及附件	$ 1,747,367	2	$ 1,930,720	$ -	$ -	$ 1,930,720	$ 77,124	100.00	$ 77,124	$ 1,901,046	$ -	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司(Gold Market Investments投資)
東莞亞昕精密塑膠有限公司(註2)	電子零組件製造零售及模具製造零售等	60,677	2	91,091	-	33,286	57,805	(33,649)	48.72	(17,746)	15,426	-	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司(Shine Trade International投資)
長春市精能眼鏡有限公司(註1)	醫療器材買賣等	33,677	2	18,548	-	-	18,548	-	65.70	-	-	-	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司(ABICO Optical投資)
東莞群勝粉末冶金有限公司(註1、3)	生產及銷售粉末冶金製品及傳動器組裝	179,909	2	157,161	22,748	-	179,909	7,208	100.00	7,208	230,898	-	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司(Cranmer Enterprises投資)
群勝科技(蘇州)有限公司(註1、4)	生產、研發及銷售有色金屬複合材料、新型合金材料及相關製品	282,260	2	282,260		-	282,260	3,041	100.00	3,041	347,165	-	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司(Best Select Industrial投資)
東莞百事得電動工具有限公司	生產及銷售電動工具及相關零配件等	83,863	2	83,863		-	83,863	29,389	100.00	29,389	186,457	-	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司(Precise Plus Group投資)
東莞一化精密注塑模具有限公司(註1、5)	生產及銷售精密塑膠配件、五金配件、軸承及模具	32,736	2	-		-	-	8,704	90.00	7,834	59,340	-	經由第三地區投資設立公司再投資大陸公司(IKKA HK投資)

應華精密科技股份有限公司

大陸投資資訊－基本資料

民國106年1月1日至9月30日

註1：除長春精能、東莞群勝及東莞一化外，餘係依經會計師核閱之財務報表評價認列。
註2：東莞亞昕累計投資金額$57,805(美金2,005仟元)，其中現金投資$9,250(美金350仟元)；機器設備投資$48,555(美金1,655仟元)。
註3：東莞群勝累計投資金額$179,909（美金5,700仟元）其中現金投資$148,092（美金4,778仟元）；機器設備投資$31,817（美金922仟元）。
註4：群勝蘇州累計投資金額$282,260（美金9,000仟元），其中現金投資$278,521（美金8,885仟元）；機器設備投資$3,739（美金115仟元）。
註5：本集團自民國104年3月31日收購DaiichiKasei Holdings Co., Ltd.而間接持有東莞一化精密注塑模具有限公司。
註6：投資方式區分為下列3種：
1.直接赴大陸地區從事投資。
2.透過第三地區再投資大陸。
3.其他方式。

公司名稱	本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
應華精密科技	$ 1,809,368	$ 1,716,297	$ 2,474,148
應華工業	183,140	183,140	660,480
能率壹創投	14,565	16,501	484,910
捷邦國際(註1)	546,032	635,229	-
	$ 2,553,105	$ 2,551,167	$ 3,619,538

註1：捷邦國際民國106年4月取得經濟部工業局核發符合營運總部認定辦法規定文件，有效期間自民國106年4月至109年4月，故無受限制。

應華精密科技股份有限公司

大陸投資資訊－直接或間接經由第三地區事業與轉投資大陸之被投資公司所發生之重大交易事項

民國106年1月1日至9月30日

附表九

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

大陸被投資公司名稱	銷(進)貨		財產交易		應收(付)帳款		票據背書保證或提供擔保品		資金融通				其他
	金額	%	金額	%	餘額	%	期末餘額	目的	最高餘額	期末餘額	利率區間(%)	當期利息	
東莞承光	($ 19,753)	(100)	$ -	-	($ 11,728)	(100)	$ 150,000	-	$ -	$ -	-	$ -	-
Cranner Enterprises	(1,016,374)	(95)	-	-	(179,078)	(65)	-	-	-	-	-	-	-